

# 2019年9月期決算 会社説明会

2019年12月11日

山口フィナンシャルグループ

# 目次

## 2019年度中間決算について

- 1) 2019年度中間決算概要(連結)	4
- 経常利益増減要因(連結)	5
- 中間決算概要(銀行単体)	6
- 2) 貸出金①	7
- 3) 貸出金②	8
- 4) 与信費用・不良債権	9
- 5) 役務関連収益	10
- 6) 有価証券	11
- 7) 自己資本比率(連結・銀行単体)	12
- 8) 2019年度通期業績予想(連結)	13

## 中期経営計画の進捗

- 中期経営計画のビジネスモデル	15
- 金融モデルの“SHINKA”	16
- 地域共創モデルの確立	24
- 銀行店舗・チャネル	29
- 政策投資株式/配当	32

## 参考資料

34

# 2019年度中間決算概要

# 1) 2019年度中間決算概要(連結)

(億円)	2018年度	2019年度	前期比
	中間期	中間期	
コア業務粗利益	528	455	▲ 73
資金利益	458	418	▲ 40
うち預貸金利益	353	355	+1
うち有価証券利息配当金	115	83	▲ 32
役員取引等利益	78	64	▲ 13
経費 (△) (臨時処理分除く)	361	350	▲ 11
コア業務純益	167	105	▲ 62
経常利益	191	184	▲ 6
親会社株主に帰属する当期純利益	130	128	▲ 2

与信関係費用 (△)	21	62	+41
経費 (△) (臨時処理分含む)	362	349	▲ 13
有価証券関連収益	153	214	+61

## 決算概要

- ▶ 親会社株主に帰属する当期純利益は、128億円となり、前年同期比▲2億円
- ▶ 主な要因
  - ・ 与信費用の増加(+41億円)
  - ・ 役員取引等利益の減少(▲13億円)
  - ・ 有価証券関連収益の増加(+61億円)  
(内訳)
    - ・ 利息配当金(▲32億円)  
(うち投資信託解約益の減少 ▲24億円)
    - ・ 売買損益等(+93億円)

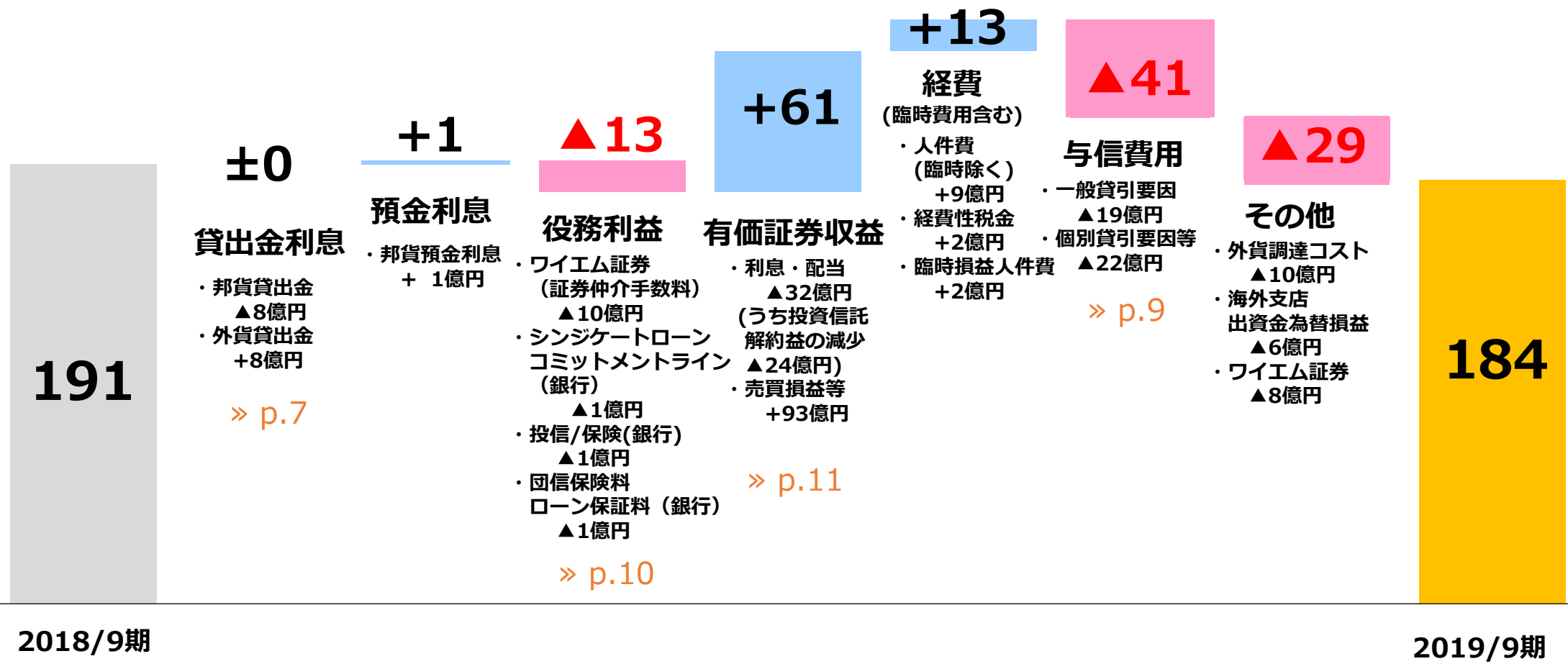
## 連単差

3行合算中間純利益	167億円
のれん償却費	▲1億円
FG連結調整等	▲38億円
YMFG連結中間純利益	128億円

# 2019年度中間決算 経常利益増減要因(連結)

» 貸出金、役務、有価証券、与信費用については各ページに詳細記載

(単位:億円)



## 2019年度中間決算概要(銀行単体)

» 山口銀行ともみじ銀行で与信関係費用が増加、役務取引等利益が減少

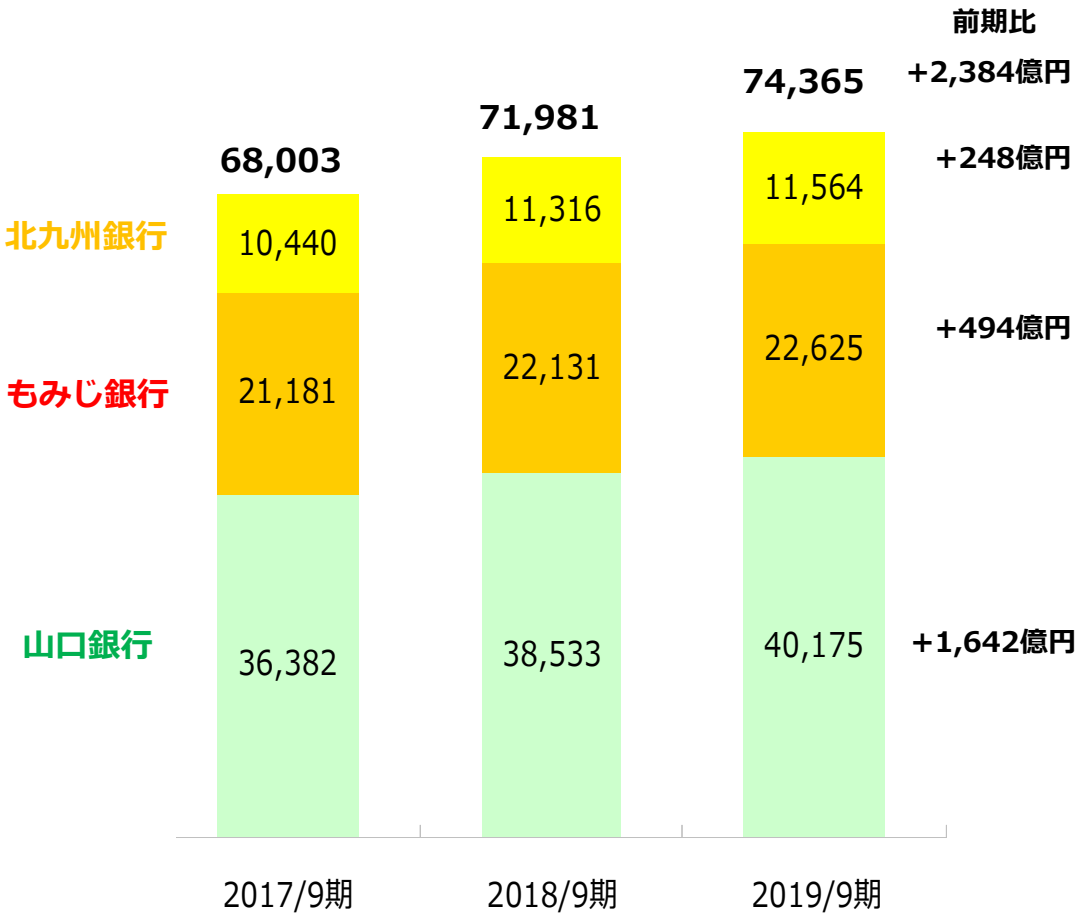
(億円)	3行合算		山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
		前期比		前期比		前期比		前期比
コア業務粗利益	414	▲ 62	222	▲ 42	133	▲ 20	57	0
資金利益	423	▲ 39	241	▲ 24	127	▲ 16	55	+0
うち預貸金利益	357	+1	191	+1	111	+0	54	+0
うち有価証券利息配当金	83	▲ 32	60	▲ 15	19	▲ 16	3	+0
役務取引等利益	34	▲ 13	24	▲ 9	9	▲ 3	1	+0
経費 (△) (臨時処理分除く)	274	▲ 15	139	▲ 4	98	▲ 9	37	▲ 1
コア業務純益	139	▲ 47	83	▲ 37	35	▲ 11	20	+1
経常利益	221	+10	167	+25	36	▲ 10	17	▲ 3
当期純利益	167	+10	123	+18	30	▲ 5	13	▲ 2

与信関係費用 (△)	60	+41	29	+12	26	+24	3	+5
経費 (△) (臨時処理分含む)	273	▲ 17	137	▲ 5	97	▲ 11	38	▲ 1
有価証券関連収益	214	+63	165	+57	46	+6	3	+1

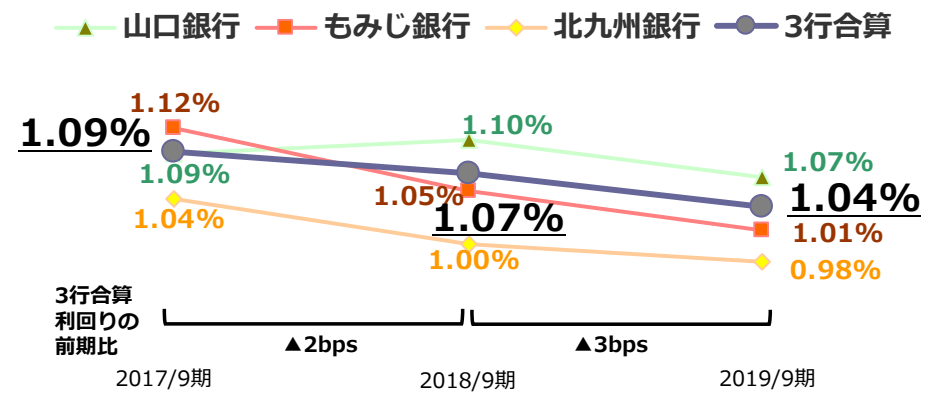
## 2) 貸出金①

- » 貸出金利回りは、邦貨貸出金利回りの低下幅縮小続くも、外貨貸出金利回りの金利上昇鈍化により全体では低下
- » 3行合算の貸出金利息額は、利回りの低下を残高増加によりカバーし前年同期比±0億円

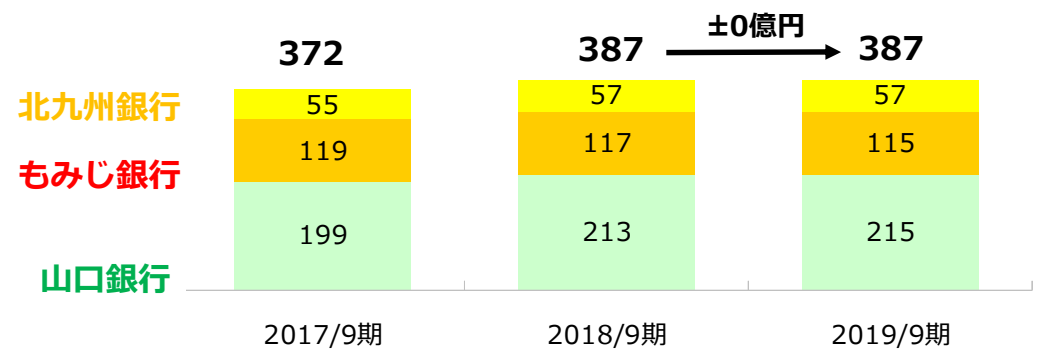
貸出金残高(平残/銀行別) (単位:億円)



貸出金利回り



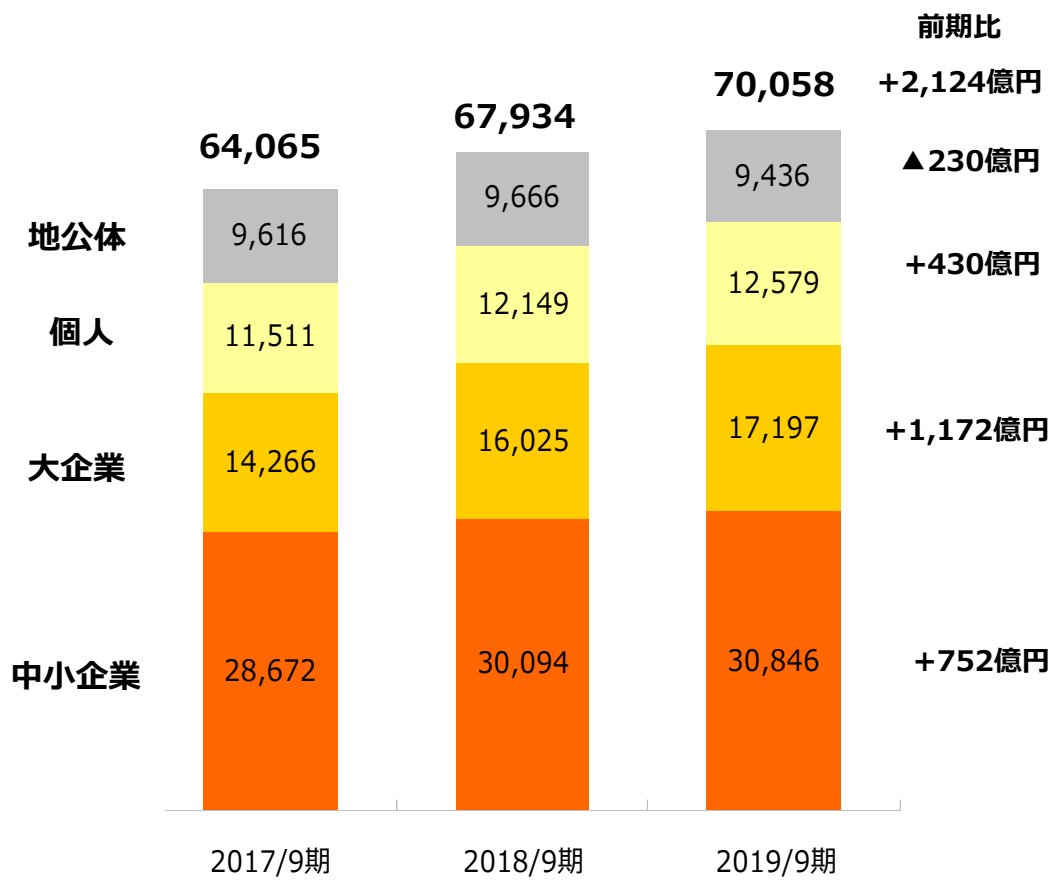
貸出金利息(3行合算) (単位:億円)



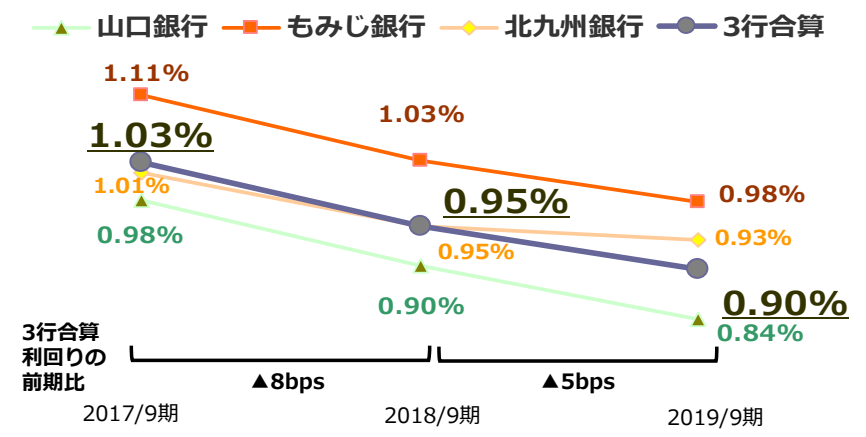
### 3) 貸出金②

- » 中小企業、大企業中心に貸出金残高は増加するも、利回りの低下により邦貨貸出金利息は減少
- » 邦貨貸出金利回りの低下幅は縮小傾向にある

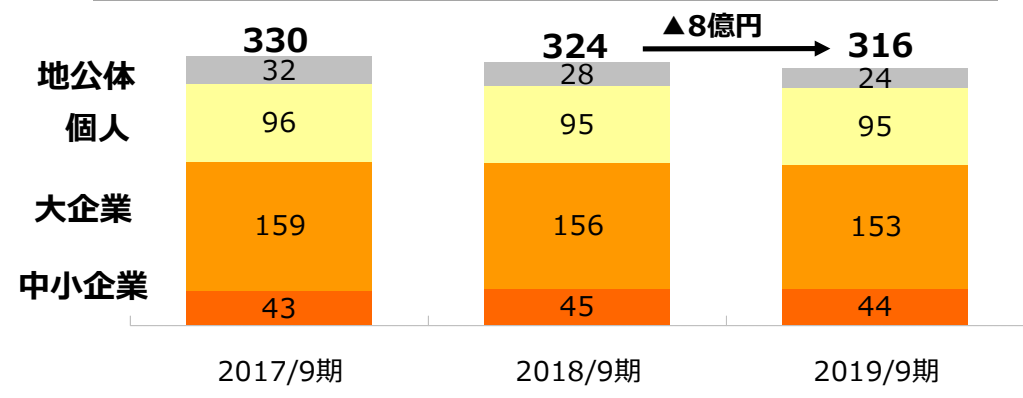
**邦貨貸出金残高(平残/事業体別)** (単位:億円)



**邦貨貸出金利回り**



**邦貨貸出金利息(3行合算)** (単位:億円)



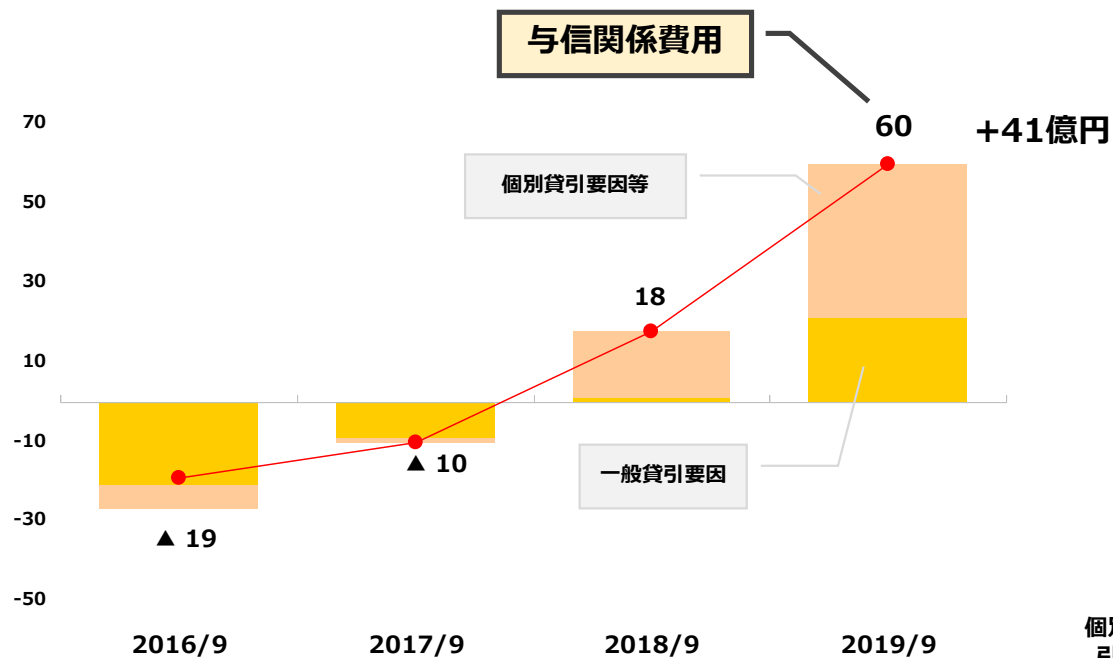


# 4) 与信費用・不良債権

- » 与信関係費用(3行合算)は+41億円の増加
- » 金融再生法開示債権残高は2019/3期と同水準を維持

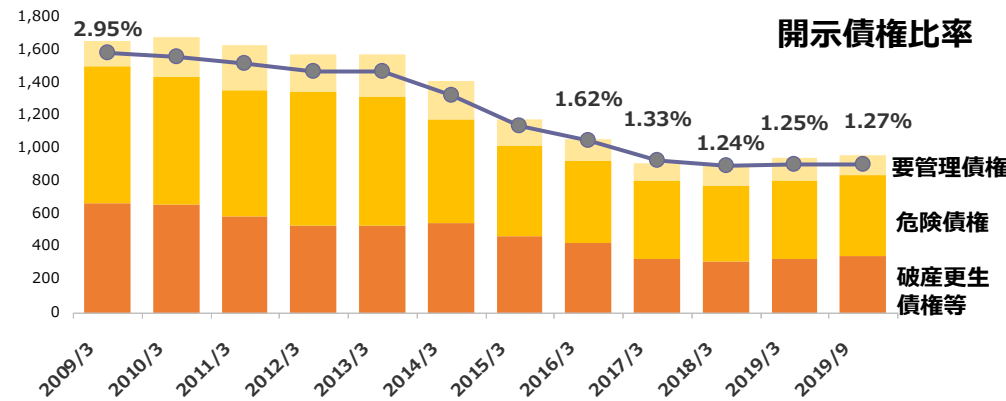
### 与信関係費用(3行合算)

(単位:億円)



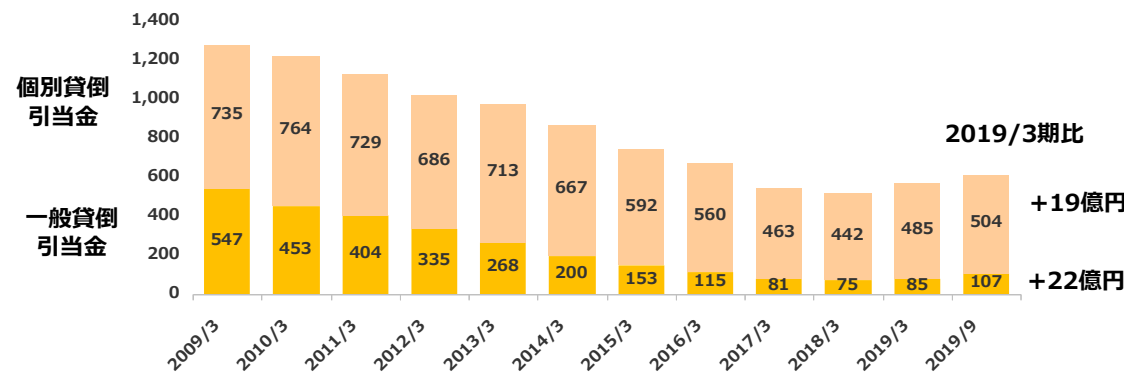
### 金融再生法開示債権残高(3行合算)

(単位:億円)



### 貸倒引当金残高(FG連結)

(単位:億円)

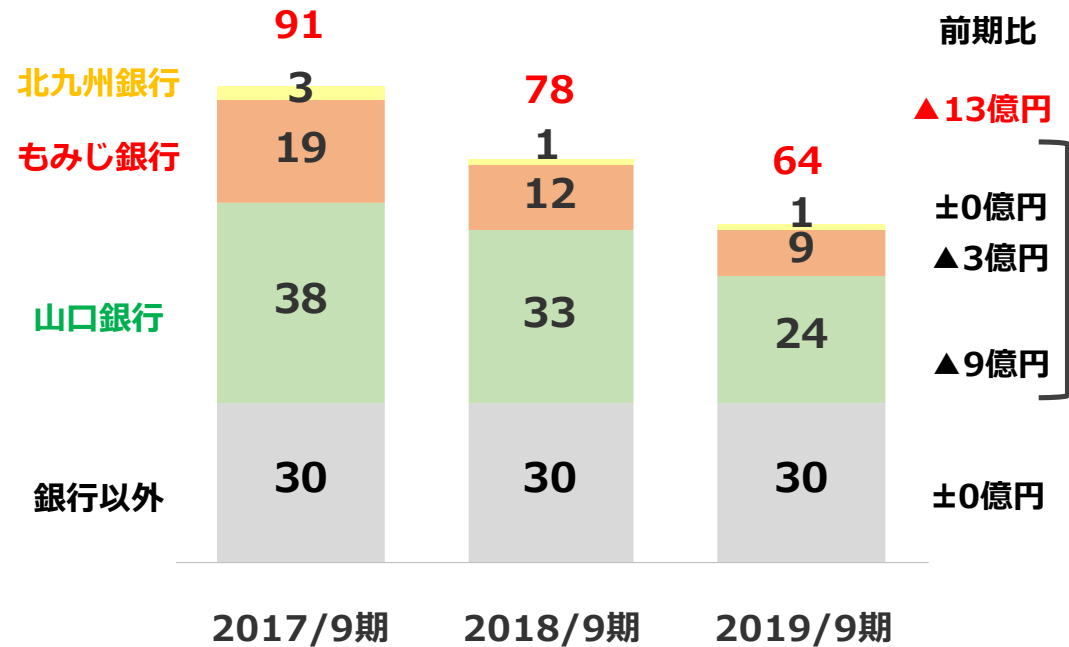


## 5) 役務関連収益

» 証券仲介手数料減少の影響等により連結役務取引等利益は▲13億円

### 役務取引等利益(FG連結)

(単位:億円)



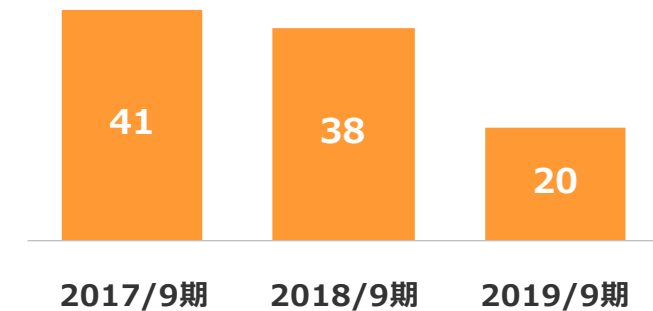
### 変動要因

#### <3行合算内訳>

- ・ワイエム証券仲介手数料 ▲10億円
- ・シンジケートローン  
コミットメントライン手数料 ▲1億円
- ・投信/保険販売手数料 ▲1億円
- ・団信保険料/ローン保証料 ▲1億円

### ワイエム証券営業収益

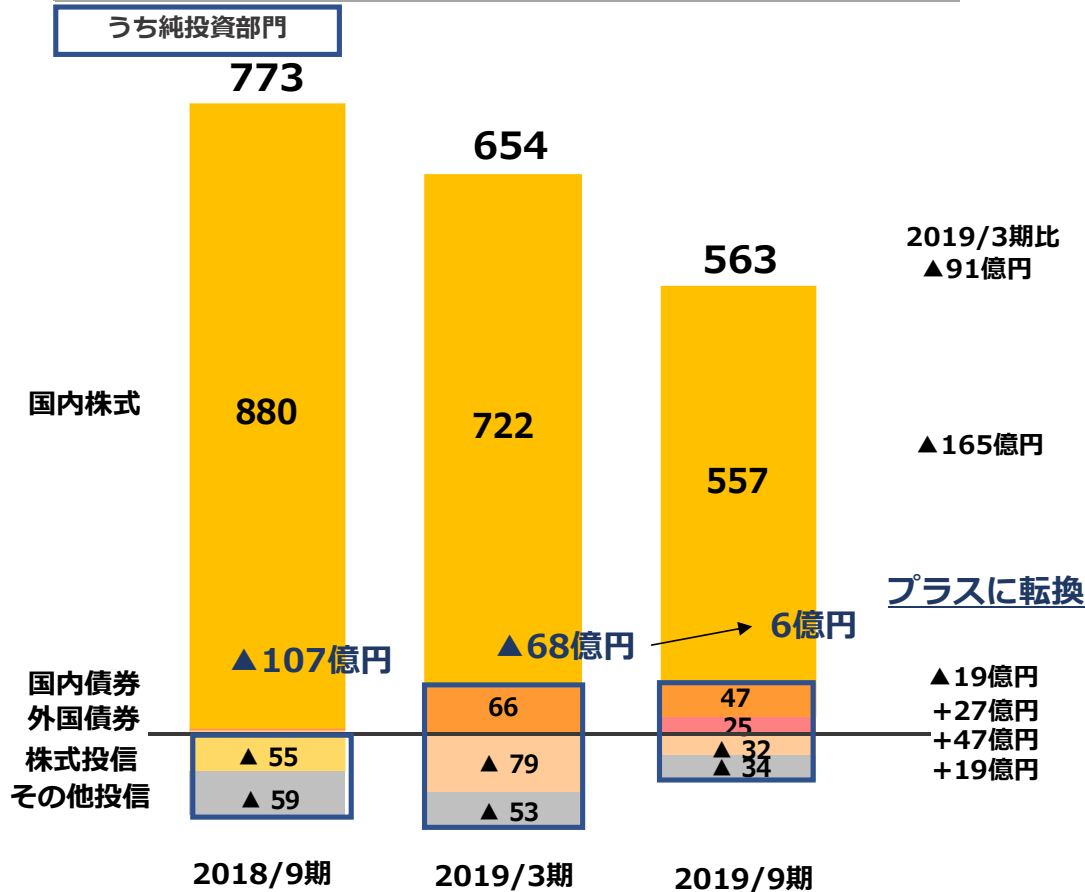
(単位:億円)



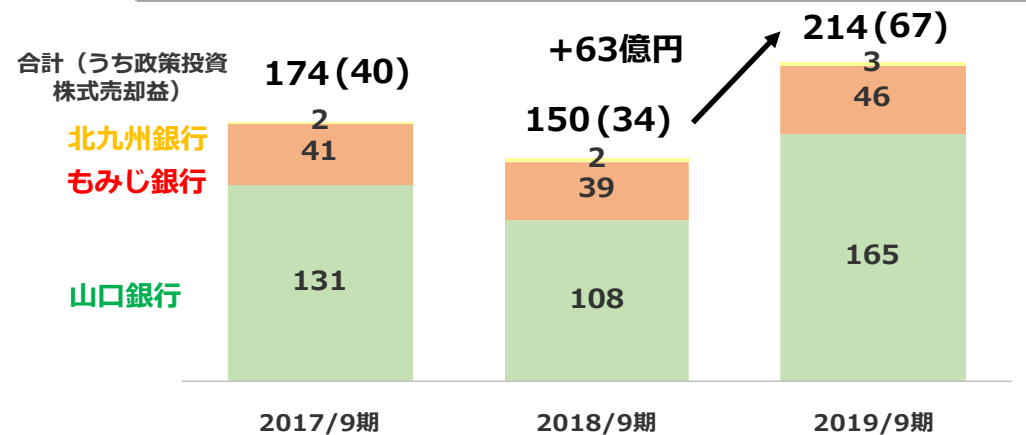
# 6) 有価証券

- 政投株売却益の計上、国内外金利の低下に伴う債券売却益の計上により、有価証券関連収益は+63億円の増加
- 純投資部門におけるその他有価証券の評価損益は、評価損益の悪化した銘柄の残高を計画的に圧縮し、プラスに転換

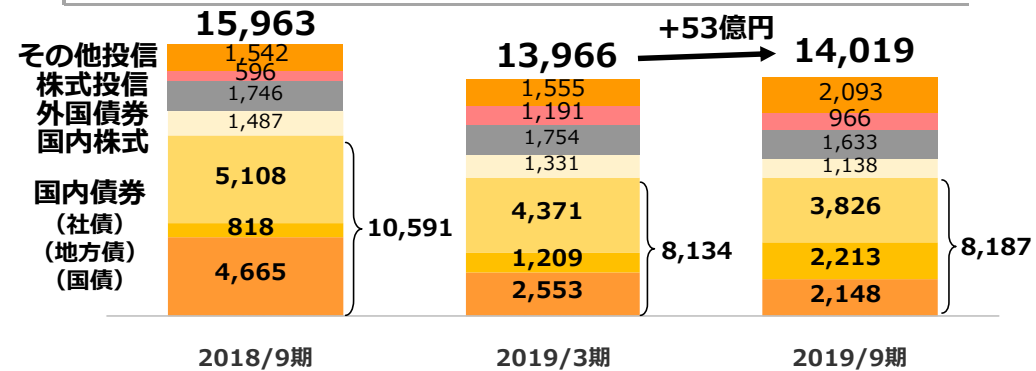
その他有価証券の評価損益(3行合算) (単位:億円)



有価証券関連収益(3行合算) (単位:億円)



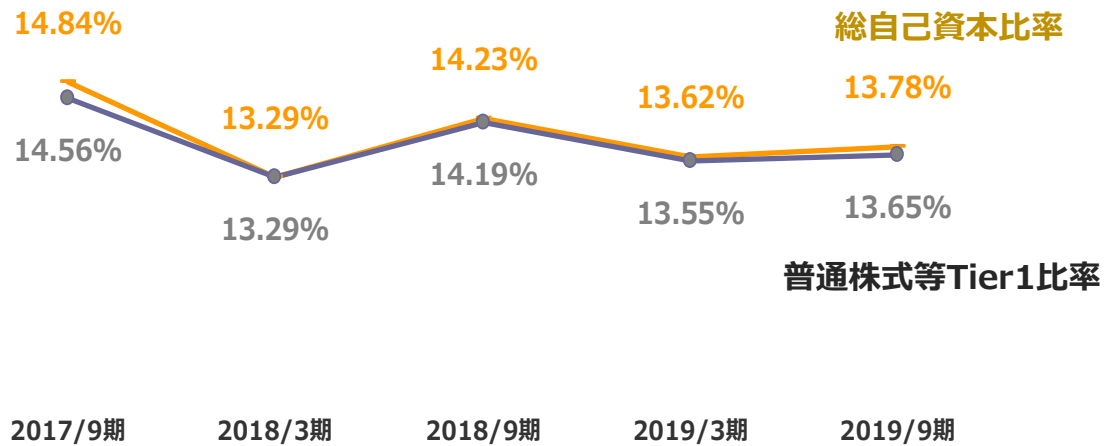
有価証券時価残高(3行合算) (単位:億円)



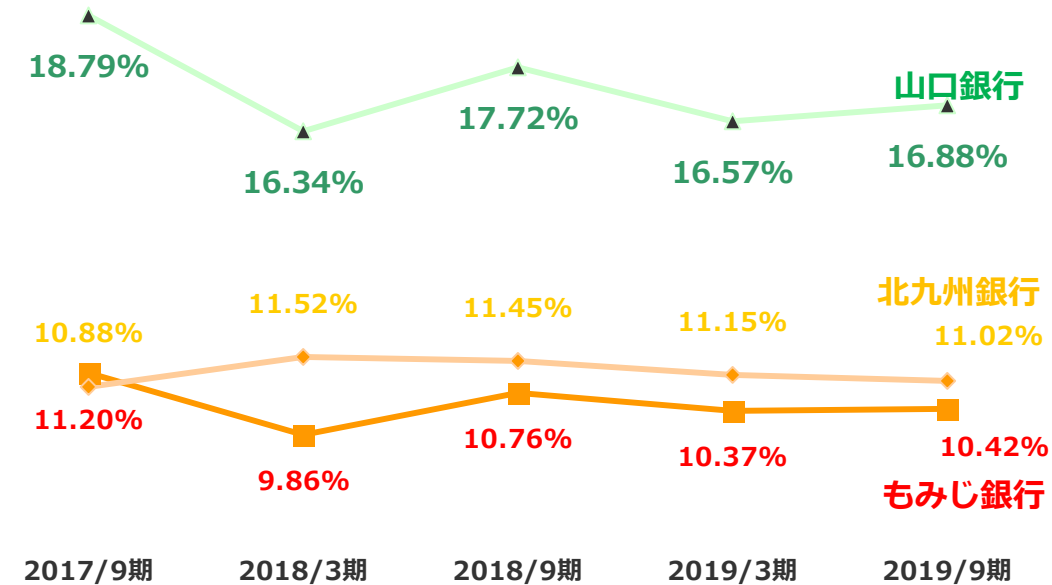
## 7) 自己資本比率(連結・銀行単体)

» 期間利益の積み上げにより、山口FGの連結総自己資本比率は13.78% (2019/3期比+0.16%)

### 山口フィナンシャルグループ連結



### グループ内銀行の自己資本比率



## 8) 2019年度通期業績予想

» 今期から開始した中期経営計画2019の推進により、経常利益400億円、当期純利益265億円を見込む

(億円)	2019年		FG連結	
	中間期	進捗率		2018年度比
コア業務粗利益	455	44%	1,015	+18
資金利益	418	49%	850	▲ 30
うち預貸金利益	355	48%	732	+24
うち有価証券利息配当金	83	58%	141	▲ 58
役務取引等利益	64	31%	203	+54
経費 (△) (臨時処理分除く)	350	49%	711	+0
コア業務純益	105	34%	304	+17
経常利益	184	46%	400	+65
(親会社株主に帰属する)当期純利益	128	48%	265	+33

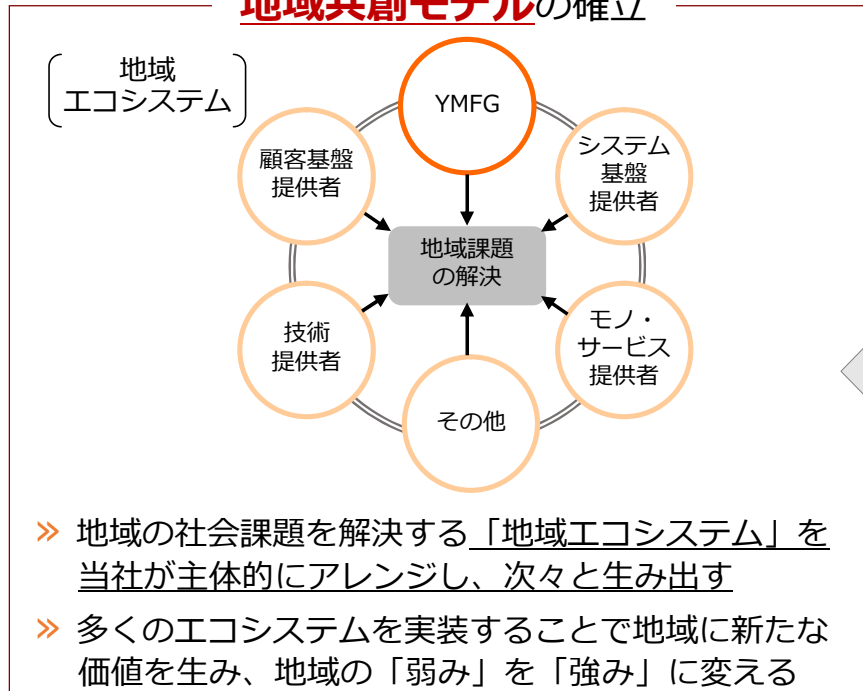
# 中期経営計画の進捗

# 中期経営計画のビジネスモデル

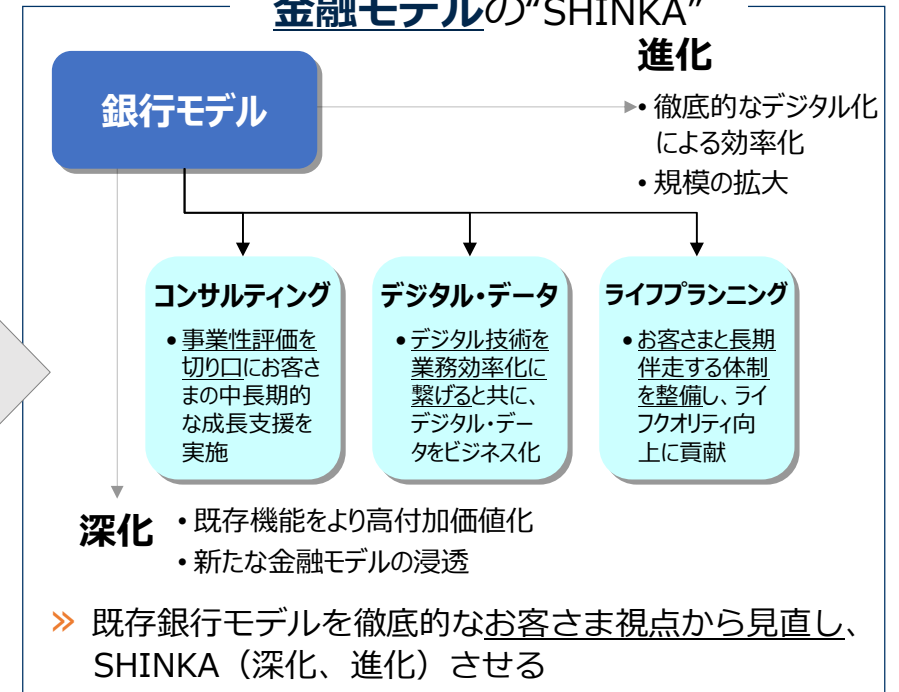
- » オリジナルのCSV\*（共通価値の創造）経営モデル【=YM-CSVモデル】を確立し、地域の社会価値の向上と当社の経済価値の向上を両立する

## YM-CSVモデル

### 地域共創モデルの確立



### 金融モデルの“SHINKA”進化



有機的に  
連携

下支え

銀行文化と起業家精神の融合

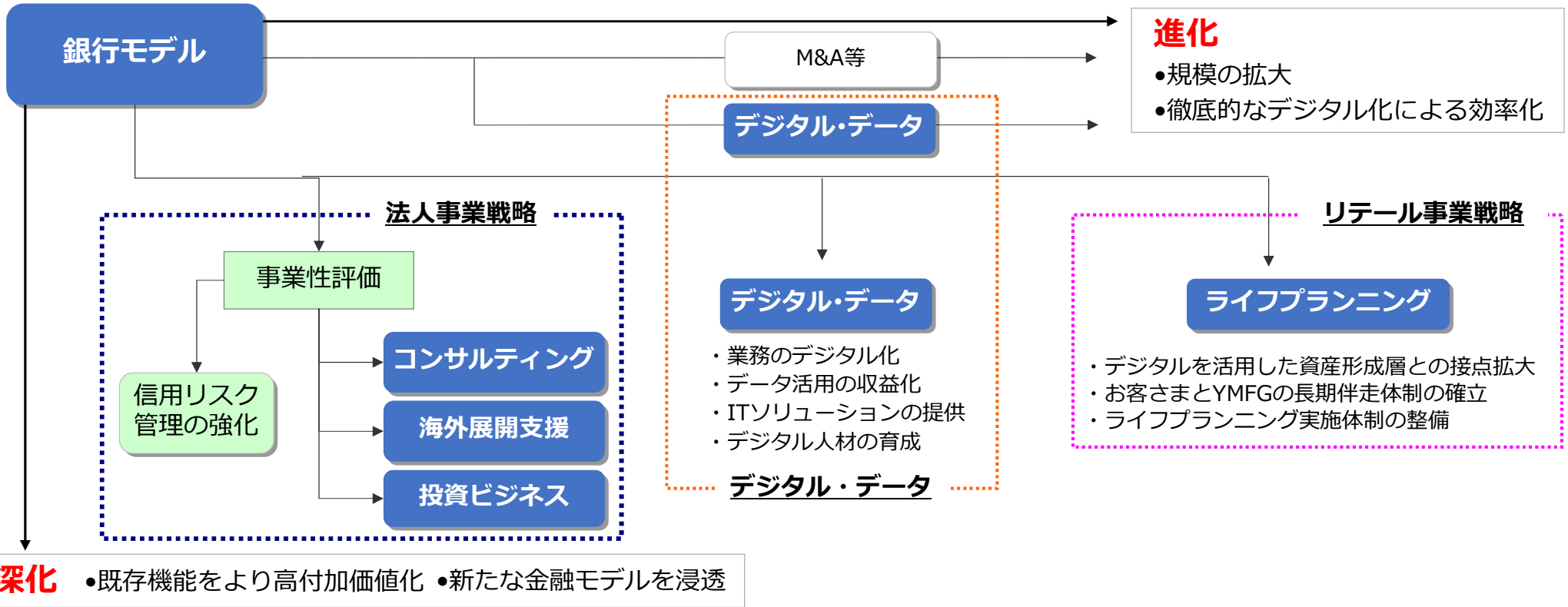
\* Creating Shared Value：経営戦略フレームワークの一つ。共通価値の創造を通じて、企業の経済利益活動と社会的価値の創出の両立を目指す

# 金融モデルの“SHINKA”



# 金融モデルの“SHINKA”

## 深化と進化



チャンネル (店舗・非対面チャンネル・ATM)

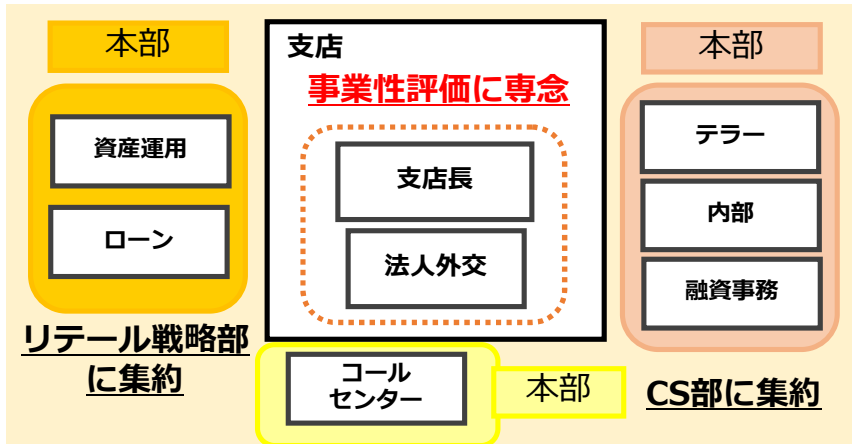
注力分野へ人員を再配置

# 金融モデルの“SHINKA”（法人事業戦略）

## 事業性評価体制の構築

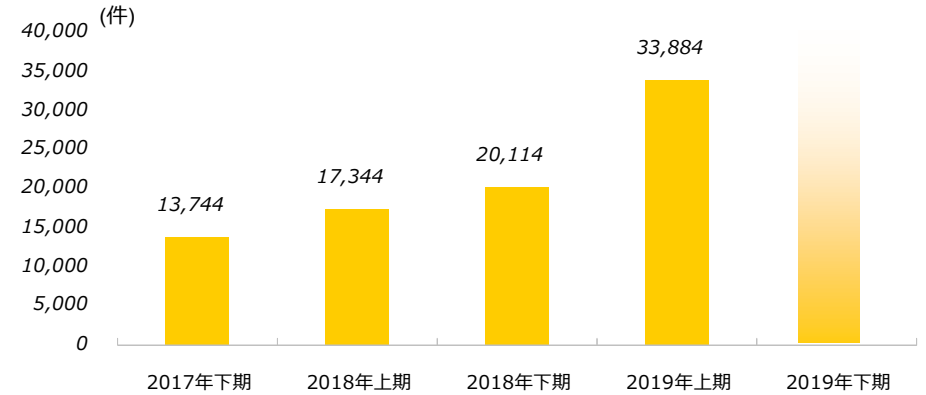
### 支店営業体制の見直し

- 支店長が事業性評価に専念できる体制の構築

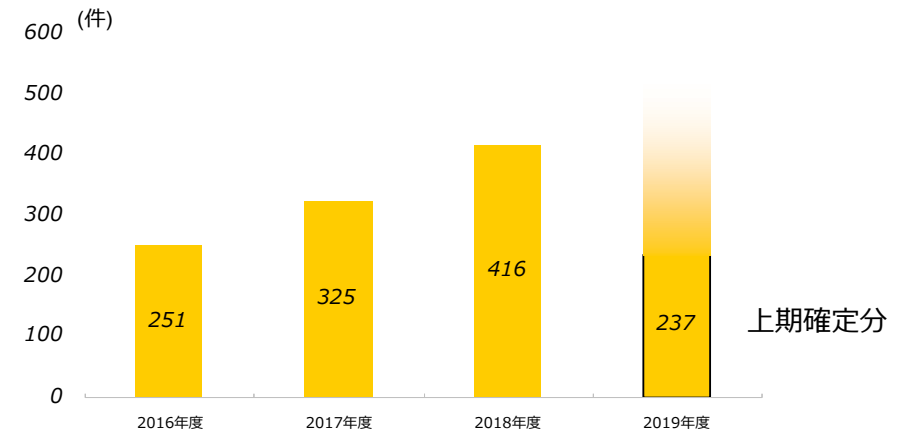


- 支店長の在任期間長期化** (2019年4月)
  - 在任期間を平均5年（現在1.7年程度）とし「地域の顔役」になる
- 支店長の与信決裁権限の本部集約化** (2019年10月)
  - 信用リスクの管理強化
  - 本部人員増加により決裁スピードを維持
- モバイル端末の導入による営業効率化** (2019年9月)
  - 支店長を対象にモバイル端末を配布・活用
  - GPSデータ活用により適正な評価に繋がると共に、訪問回数・時間等を検証し、効率的な営業活動を実現
- 経営計画策定コンサルティングを提供** (2019年9月)

### ソリューション提案件数



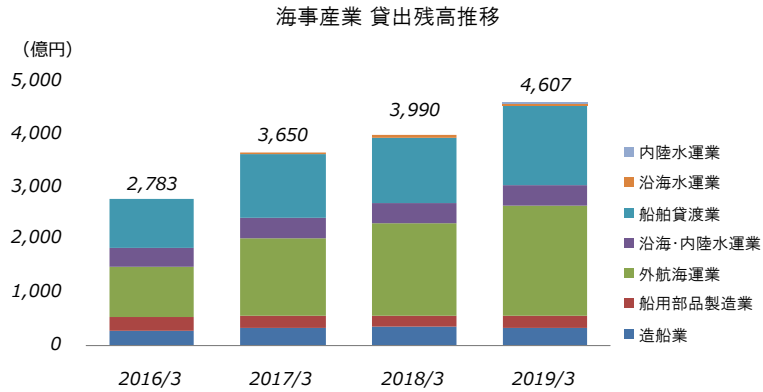
### コンサルティング実施件数



# 金融モデルの“SHINKA”（法人事業戦略）

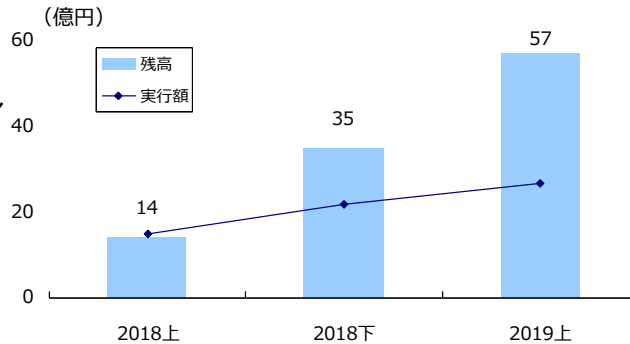
## シッフファイナンスの増強

- モビリティ戦略部シッフファイナンス室を設立(2019年11月)
- 海事産業にかかる案件審査・企業審査関連機能を集約し、信用リスクの中間管理を強化すると共に貸出残高の増強も図る



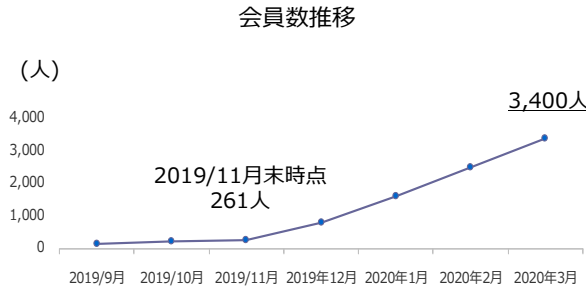
## 消費性ローンの拡大

- アイフルとの提携関係を活用、コールセンターを充実させ、残高を拡大
- 個人向け証貸ローンに加え、カードローン、事業性ローン等商品充実を図るとともに、自社データの活用、効果的な広告宣伝の実施により更なる残高拡大を図る



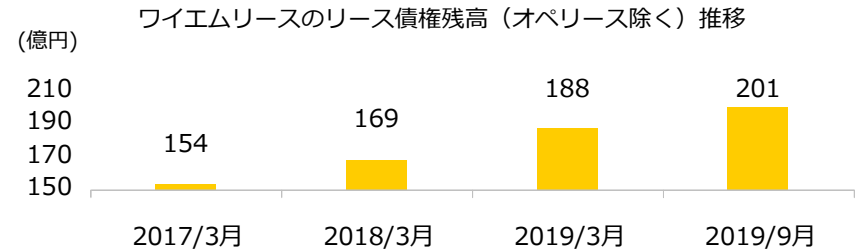
## YMプレミアムビジネスクラブ

- サブスクリプションモデルの会員制組織として創設(2019年9月)
- 事業者（法人、個人事業主）を対象として、著名な講師を招聘した高品質セミナーのほか、会員向けの限定サービス、特典を提供予定
- 会費を月額2万円に設定（既存類似サービスでは年額3万円）



## ワイエムリースへの媒介業務

- 銀行支店長のコンサルティングツールを拡大、融資とファイナンスリースを一体で提案（2019年7月開始）



# 金融モデルの“SHINKA”（法人事業戦略）

## ベンチャーキャピタル投資

### ◆投資実績（91億円）

出資総額91億円に対し、損益は+8億円（2019年度実績）  
 そのうち、スタートアップ分野のUNICORNファンド（30億円）では  
 UNICORNプログラム参加企業を中心に、18件14.9億円の出資を実施。  
 IPOした出資先もあり、損益は+1.6億円（2019年11月時点）

### ◆UNICORNプログラム

グローバルに活躍するスタートアップ企業を地域に呼び込み、地域の  
 課題解決を図るオープンイノベーション兼アクセラレーションプログラ  
 ム。参加企業の一部に対して、当社・UNICORNファンドから出資を  
 行ったほか、当プログラムがきっかけとなり、他社からの資金調達に  
 繋がる事例も出てきた

UNICORNファンド：18件、14.9億円

UNICORNプログラム参加企業その後の資金調達：8社、47億円



## Search Fund による事業承継支援

### ◆日本で初となる「Search Fund」への取り組み

後継者不在率の高いYMFGエリアの事業承継問題に対して、若手経営  
 者（サーチャー）に投資し、後継者不在企業の社長として投入する  
 「YMFG Search Fund」を設立

### ◆取り組みの狙い

域外資本へのM&Aと異なり、“地域の企業を地域で守る”ことを目的  
 とする  
 地域を優秀な若手経営者が活躍できる地域に転換するとともに、中  
 央の優秀な若者に対しては、若い段階から経営者として活躍できる  
 新たなキャリアパスを社会に提供する

### ◆事業の進捗状況

サーチャー4名に投資実行し、2019年度中の第1号案件実行（企業  
 の株式買取）を予定  
 今後、更にサーチャーの陣容を拡大し、「Search Fund」を事業承  
 継モデルの1つとして確立する



# 金融モデルの“SHINKA”（リテール事業戦略）

## ライフプランニングの深化

### 銀行

- リテール営業担当者のF G管轄化（2020年1月予定）によるお客さまへのサービスの「質」の向上・統一
- 統合データベースによるデータ抽出を通じたSMSでのマーケティングの実施

### ワイエムライフプランニング

- 社内I F Aによる職域向けI F Aサービスの開始（サービス内容）
  - ・ I F Aによる個別相談（ライフプランニング）
  - ・ オーダーメイドの研修やセミナー
- 積極的なセミナーの実施
- 長期伴走及びクロスセル推進のためのライフプランニングツールの開発とデータベース化の取組み
- インターネット証券最大手S B I証券との提携による資産形成層向け商品ラインナップの充実・販売力向上

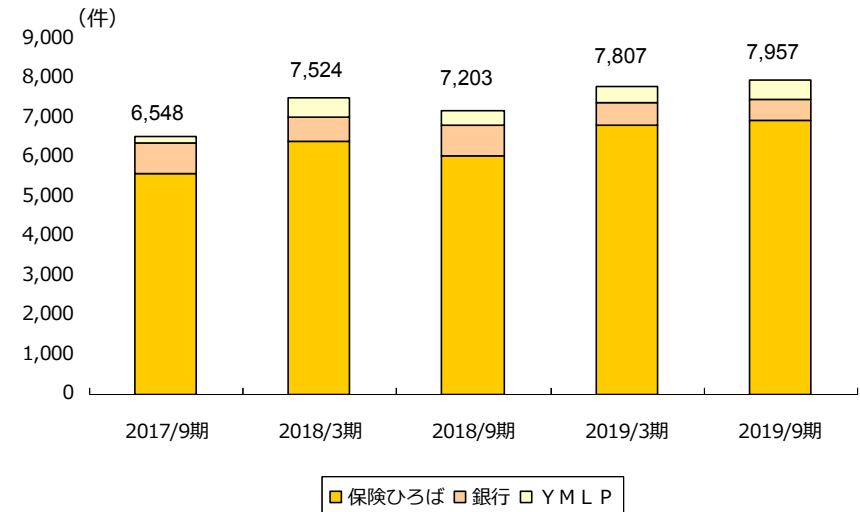
### 保険ひろば

- 店舗網の拡大  
2018年度：52店舗／2019年11月：55店舗／中計最終年度：70店舗
- 人員の増強  
2018年度：245人／2019年11月：296人／中計最終年度：350人

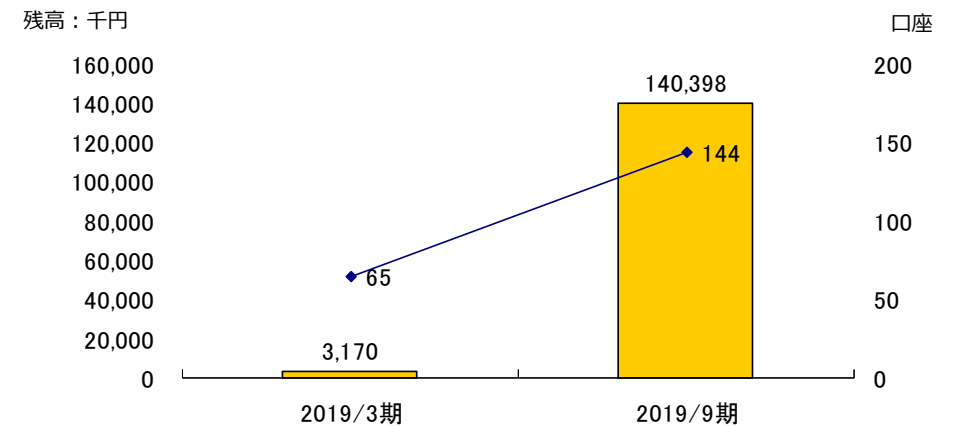
### ワイエム証券

- 店舗統廃合を2020年1月より開始

◎医療・がん保険販売件数推移



◎YMLPにおけるSBI証券取扱い状況



# 金融モデルの“SHINKA”（デジタル・データ）

## 統合データベースの稼働（2019年7月）

- ▶ マイクロソフト社のクラウド（Azure）上に、グループで保有する主要なデータ（約200種類）を分析するための統合データベースを構築、7月より稼働
- ▶ クラウド上に構築することで、データ分析に必要な期間を大幅に短縮した他、ブレインパッド社の協力のもとに構築しており、データ分析の活用が容易なデータベース
- ▶ データ分析ツールとしてマイクロソフト社のPowerBIを採用、クラウド内に保管したデータを各事業本部でデータ分析により情報化し、新サービス創出・サービス改善、業務効率化に繋げる

## 統合データベース活用例

### 営業への活用

- ・ 他社を含むクレジットカードの決済情報（カードシェア、平均利用額、属性等）の分析による当社カード事業の見直し・強化
- ・ 精緻化したデータを用いたマーケティングの高度化によるSMS、アウトバウンドコールの実施

### 与信管理の強化

- ・ 税金・公共料金等の振替情報と債務者情報の紐付けによる債務者の信用変化事前察知
- ・ 築年数ごとの空室率や家賃水準のデータ分析によるアパートローン審査の効率化

# 金融モデルの“SHINKA”（今後の事業展開）

## 個人向けサービス

### ライフサポート口座（仮称）の新設

- ▶ 口座情報とクレジットカード情報を統合DBにより分析し、お客さまに応じた家計診断サービスを行う口座を新設
- ▶ WeB上で家計の見直しに向けたアクションをサポートし、リアルチャンネルに誘導
- ▶ お客さまの情報や趣味嗜好を把握、非金融サービスを含めたパーソナライズな情報提供を行う

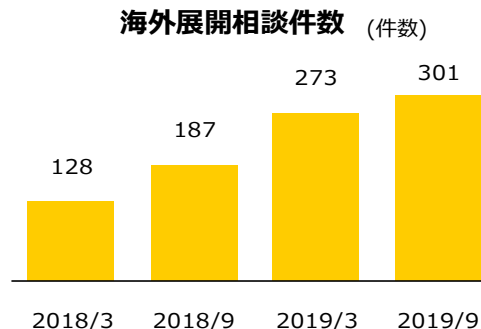


### クレジットカード事業の拡大

- ▶ 当社口座からのクレジットカード利用明細（取扱高）約4,000億円のうち、自行系カード（ワイエムカード）シェアは5.9%
- ▶ 自行系カードの利用拡大のため、銀行窓口に加え、保険ひろばのチャンネル、ウェブを活用していくとともに、顧客ニーズを把握しながら、クレジットカードの利便性・機能拡充を図っていく
- ▶ ライフサポート口座を付加価値として提供

## 海外進出支援の強化

- ▶ 地域企業の海外展開に関するニーズ増加や当社における海外展開支援体制の整備に伴い、相談件数は増加基調



## 法人向けサービス

### 決済代行ビジネス

- ▶ 大手決済代行業者と提携して決済ファイナンスに参入

決済代行業者の運転資金への対応  
 ⇒西日本エリアの売掛債権規模：約2兆円（推計）  
 うち早期資金化ニーズ（約30%）6,000億円

- ▶ 決済代行会社の設立も視野に入れる

### リスクマネジメント・ビジネス

- ▶ 世界最大手のMarsh社および太陽グラントソントン税理士法人のアドバイスを受けながら中小事業者向け（非取引先も含め）のリスクマネジメント・サポートに参入し、法人向け損保販売に参入

西日本エリアの中小・小規模事業者向け法人損保の市場規模は約5,000億円（保険料、推計）

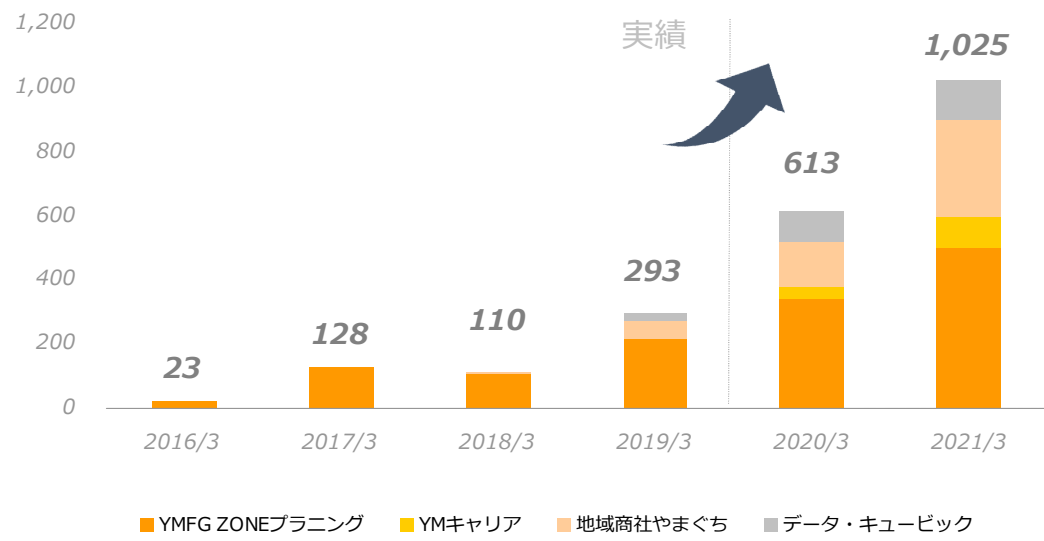
# 地域共創モデルの確立



# 地域共創モデルの確立

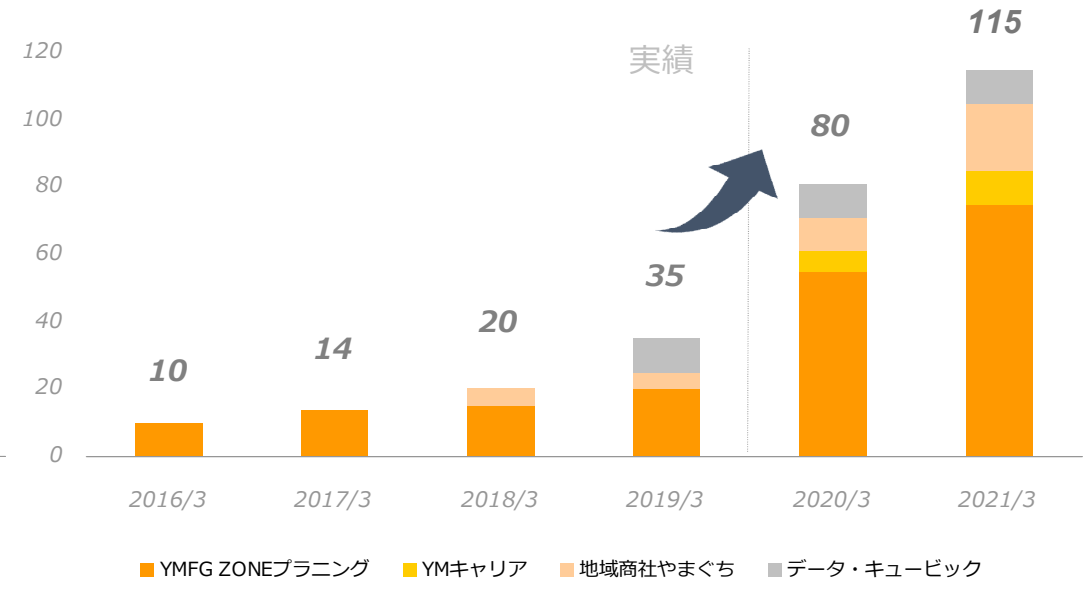
## » 地域共創モデル 売上高

(百万円)



## » 人員数の推移

(人)



- 地域共創モデルでは自治体や企業と連携し、地域課題解決を目的とするエコシステムを構築する
- エコシステム単体での収益化を図ると同時に、グループ内の各機能を有機的に連携させ全体でも収益化を図る

# 地域共創モデルの確立

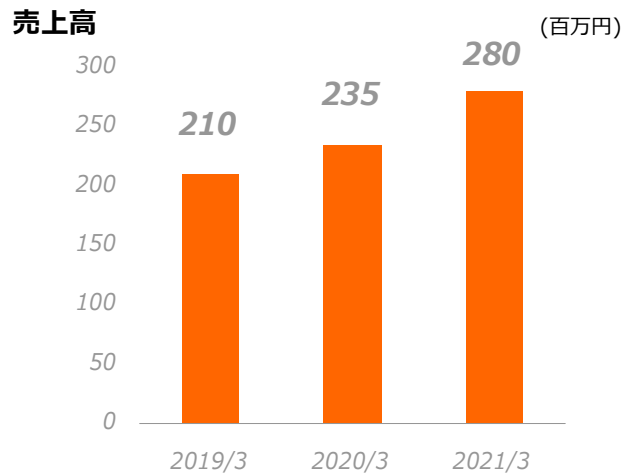
## YMFG ZONE プラニング

### 自治体向けコンサルティング

- 自治体・中央省庁が抱える様々な課題を解決するための調査・実証実験を受託し、最先端の地域課題解決手法や資金を地域に呼び込む

#### ●事業内容

- 地方創生コンサルティング
- 地域インフラの海外輸出
- 地域商社の売上拡大支援 等

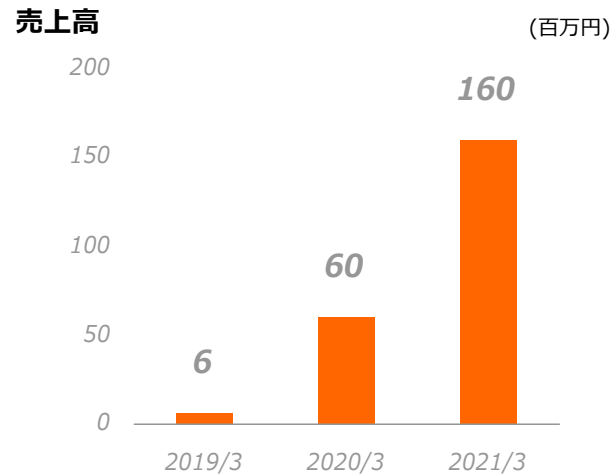


### PPP/PFI・まちづくり

- PPP/PFIとまちづくりを切り口に、官民連携の推進及び事業を展開し、民間の事業機会の拡大による経済成長を実現

#### ●事業内容

- PPP/PFI官民プラットフォームの運営
- 日本版LABVの事業化
- 公共空間活用の事業化 等

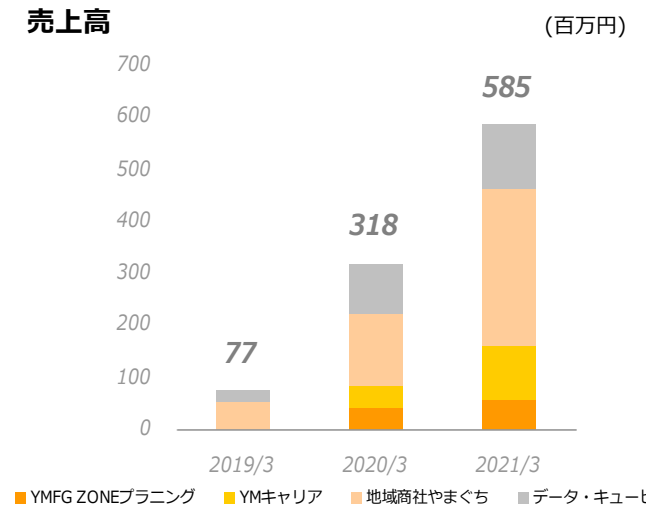


### 地域エコシステム

- 地域課題解決に向け、各分野に精通する提供者を繋ぐハブとなり、主体的にプロデュースすることでエコシステムを構築
- 必要に応じて事業会社設立・実業に参入

#### ●地域エコシステム

- 人材紹介 (YMキャリア)
- 地域商社 (地域商社やまぐち)
- 地域情報発信 (データ・キュービック)
- 高齢者サポートサービス事業
- 観光振興 等



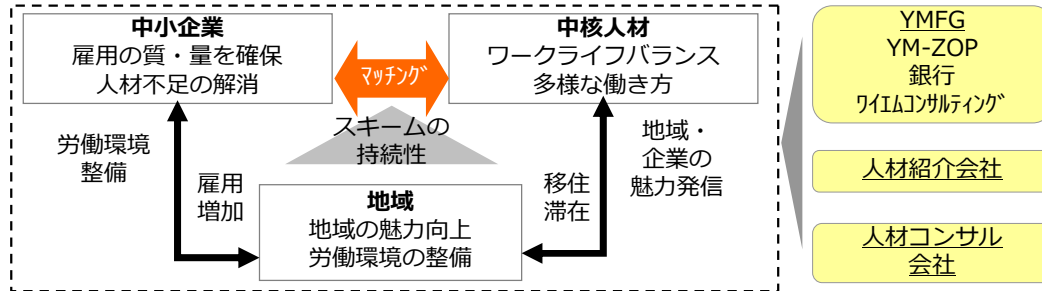
# 地域共創モデルの確立

## 人材紹介（YMキャリア）

### ◆実証実験

- 中小企業庁が主導する中小企業と人材のミスマッチを解消する支援スキームについて公募が実施され採択、実効性を確認

### TSUNAGUプロジェクト：2018年8月～2019年2月



### ◆会社設立

- 地域の中核人材・副業人材ニーズに応え、交流人口を呼び込むため、2019年7月に株式会社YMキャリアを設立

- 2020年3月期は売上高40百万円、**経営者人材紹介12件、副業人材紹介31件を見込む**（経営者人材紹介料：年収の4.5%）



### ◆外部連携（オープンイノベーション）の拡大

- 関係人口の創出・拡大に向けた連携協定を山口県と締結
- 首都圏から地方への人材還流の促進等を協働で行うことで、地方創生の実現に資することを目的とし、**サーキュレーション**と包括連携協定を締結

## 地域商社（地域商社やまぐち）

### ◆流通小売向け販売

2017年10月設立

	2018/3	2019/3	2020/3
売上高（百万円）	3	54	140
仕入取引社数	25	53	65
取扱品目数	44	218	330

- 2017年10月の設立以降、食品を中心に山口県産品の取扱品目を拡充
- オリジナルブランド商品として仕入先と共同で開発した「やまぐち三ツ星セレクション」は44品目
- 特に需要の大きい酒類販売を強化しており、地酒は3つの酒蔵でオリジナル商品を開発済み（更に2酒蔵と趣向を凝らした地酒を開発中、来春発売予定）

### ◆海外向け販売

- 地域産品の海外展開支援として、①香港向けテスト販売（BtoB）、②越境ECによる大連向け販売を開始予定
- 2021年3月期までに海外輸出の**取扱高200百万円**を目指す

【純米大吟醸 東洋の女神】



山口県萩市の「東洋美人」の蔵元である(株)澄川酒造で醸成した山口県産の山田錦を使用

【やまぐち三ツ星セレクション】



# 地域共創モデルの確立

## 観光振興

### ◆ 地域情報発信（データ・キュービック）

- ▶ 地域でのマーケティング支援やコンサルティング等を通じ、観光地や地元企業のブランディング、プロモーションの代理業を行う



#### 【Webサイト：ココいろ】

■山口の楽しみ方、遊び方を紹介する観光情報をはじめ、山口で暮らし、働く人のための「移住」や「起業」に役立つ情報を発信

### ◆ インバウンド戦略

- ▶ オープンイノベーション組織「イイトコドリ。」4社のオリジナリティを融合し、訪日外国人向けプロモーション・観光コンテンツを強化

WAmazing

訪日外国人旅行者向け旅行アプリの開発・運営



YAMAP

登山アウトドア向けアプリの開発・運営



Stroly

オンライン地図をクーポン発行システムの連携を検討



ALE

世界初の人工流れ星事業による観光コンテンツの開発



- ▶ WAmazingには山口県下30の宿泊施設・アクティビティが登録されており、YAMAPは大島において山登りツアーを実施するなど実績

### ◆ 銀行店舗の活用

- ▶ 観光地の中心に位置する銀行店舗を改装し、新たな観光拠点に転換
- ▶ 銀行業務効率化により生じた余剰スペースに、歴史・文化・自然など観光地の特性に応じたコンテンツを導入する

#### 【コンテンツ案】

- ・ 築80年超の旧銀行建築を活かしたアートスペース
- ・ 自然環境の保護、学習等をテーマとした体験型施設

### ◆ 古民家や廃旅館等を活用した商業施設（宿泊・飲食等）の開発

- ▶ 地域の人口減少や空き家の増加、文化的景観の消失危機といった課題に向き合うと同時に、日本的な街並みや暮らしの体験を希望する訪日外国人のニーズに対応するため、古民家や廃旅館等を観光資源化する

### ◆ 観光コンテンツの開発

- ▶ 観光地の周遊促進と滞在時間拡大に向けた取り組みとして、観光コンテンツの開発・誘致に投資する

### ◆ 目標（KPI）

2021年3月までに、山口県に新たに**100万人**の観光客を誘致する

# チャンネル（店舗・非対面チャンネル・ATM）

# チャネル（店舗）

## 店舗余剰空間の活用の拡大

### 山口銀行 油谷支店

(2019年7月開業)

- » 飲食店を併設
- » 地元住民の来店客数増加



■1日の平均来店客数  
リニューアル前：60名程度  
⇒100名前後（銀行・飲食店合計）

■セミナー実施  
10回開催  
のべ70名以上が参加  
その他地域会合にも活用

### 山口銀行 周南団地支店

(2020年3月開業予定)

- » 事業所内保育施設を併設
- » 社員の育児と仕事の両立を助成



### 今後の取り組み

- » 法制度改正を活用し、賃料のみならず事業収益の獲得を図っていく
- » 多様な業種と連携を図り、余剰空間を地域のためになる形で有効活用していく

【現在交渉中・検討中の活用方法】

- ・カフェ
- ・スポーツジム
- ・レストラン
- ・塾
- ・観光施設
- ・介護センター
- ・イノベーションセンター
- ・e-スポーツセンター 等

## 人員の効率的配置

### 少人数運営店舗

実績  
(2019/11まで)

中計最終  
年度

店舗数

1支店  
12出張所

100拠点

捻出人員

26名

250名



(もみじ銀行青葉台出張所)

### 人員再配置

	2018年度	2019年度	中計最終年度
	実績	上期実績	計画
商業銀行モデル	3,040人	2,940人	2,465人
ライフプランニング	715人	720人	935人
コンサルティング	65人	100人	150人
地域共創モデル	45人	50人	185人
海外展開支援	5人	15人	25人
投資ビジネス	10人	15人	20人



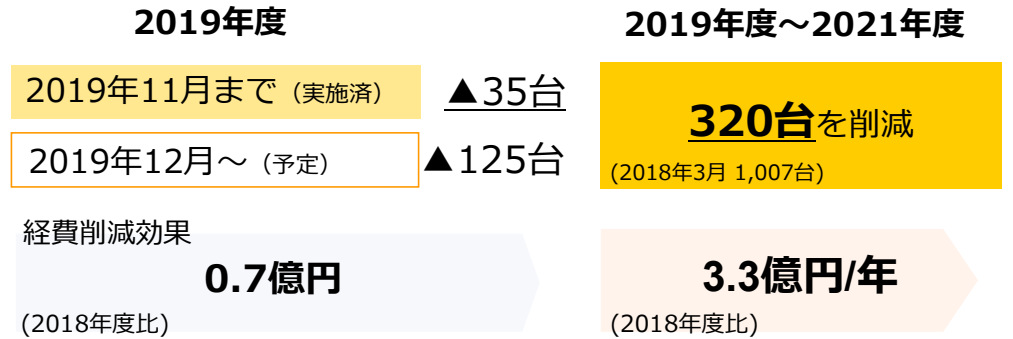
# チャネル（非対面チャネル・ATM）

## 非対面チャネルの拡充

- ・スマートフォン向けポータルアプリをリリース  
 2019/6月 口座開設、住所変更  
 2019/9月 資金移動、残高照会  
 2020/2月(予定) 無通帳への変更、  
 口座開設時にクレジットカード申込
- ・資金移動はセキュリティ対策を完備  
 (2段階認証)

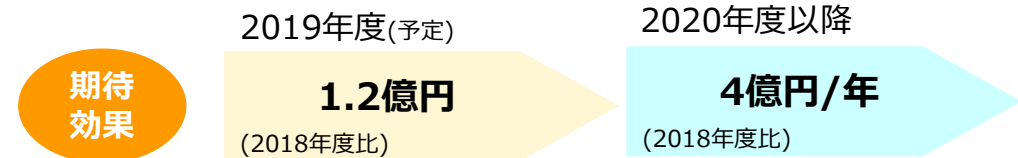


## ATMの台数削減



## コンビニATMの見直し（2020年1月～）

- ・提携コンビニATMの利用時間を延長（24時間化）  
 利用手数料を改定（増額）



# 政策投資株式/配当

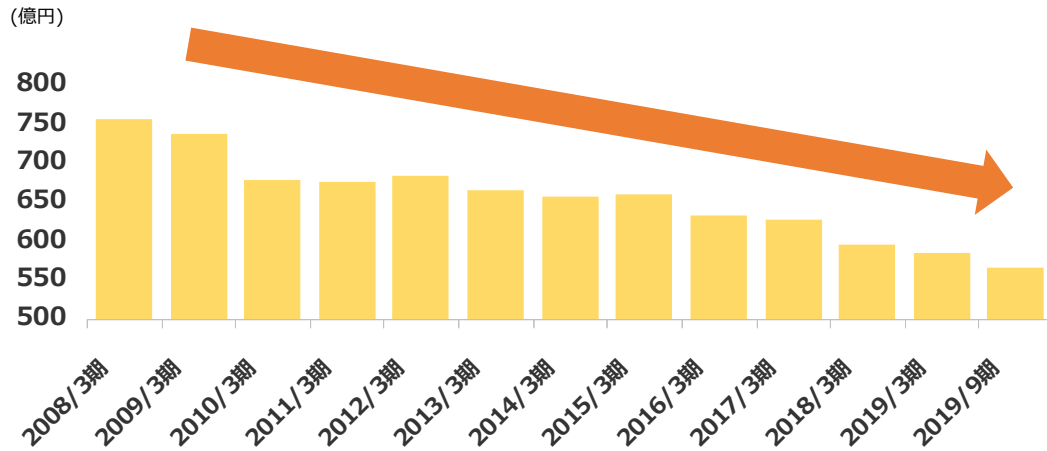


# 政策投資株式/配当

## 政策投資株式

- » 政策投資株式については、従来通り保有目的の適切性、保有に伴う便益やリスクが当社の資本コストに見合うか否かといった観点から保有の適否を判断する
- » 保有の合理性が認められる場合を除いて、
  1. 新規に取得しない
  2. 既保有分については縮減する

## 政策投資株式取得原価推移



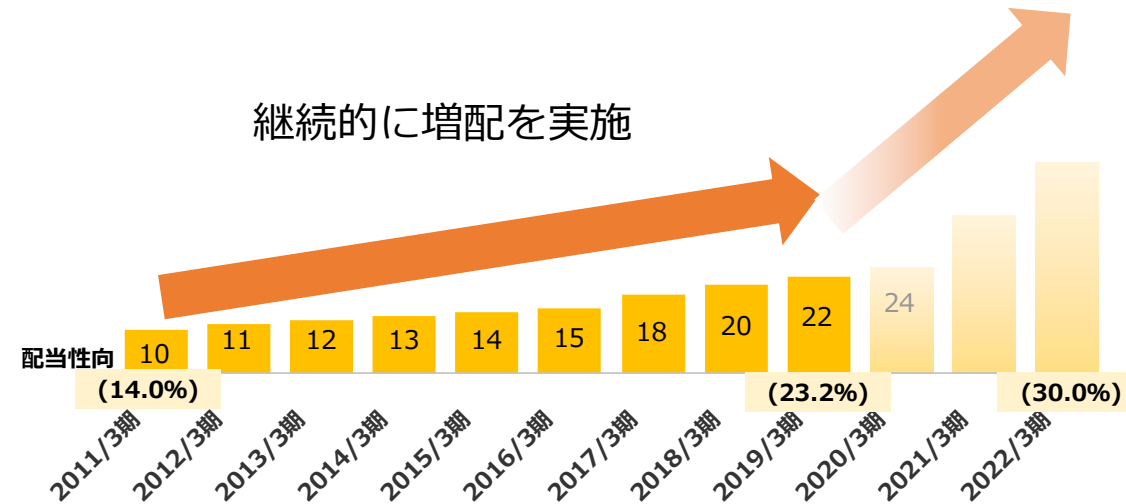
## 配当

- » FG設立以降、継続的に増配を実施  
2020年3月期第2四半期末は1円増配  
年間を通しては2円増配を予定する(9期連続増配)
- » 中計最終年度(2022/3期)には、  
配当性向30%程度まで引き上げることを目指す

## 年間配当/株の推移

(単位:円)

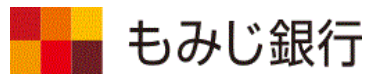
配当性向目標  
**30%**



# 参考資料

# 国内店舗ネットワーク

- » グループ3銀行で国内280拠点、海外4拠点（2019年11月末現在）
- » ワイエム証券18拠点、保険ひろば55拠点



国内 112 拠点  
(本・支店98、出張所14)



国内 131 拠点  
(本・支店109、出張所22)  
国外 4 拠点  
(支店3、駐在員事務所1)



国内 37 拠点  
(本・支店37)

山口銀行豊洲支店  
代理店方式を導入  
グループ3行の預貸取引が可能



山口	8 拠点	東京	1 拠点
広島	5 拠点		
福岡	4 拠点	合計	18 拠点



山口	12	佐賀	1	兵庫	2
広島	13	長崎	1	大阪	4
福岡	11	大分	2	奈良	1
島根	3	熊本	3	滋賀	2
				合計	55

# アジアネットワーク

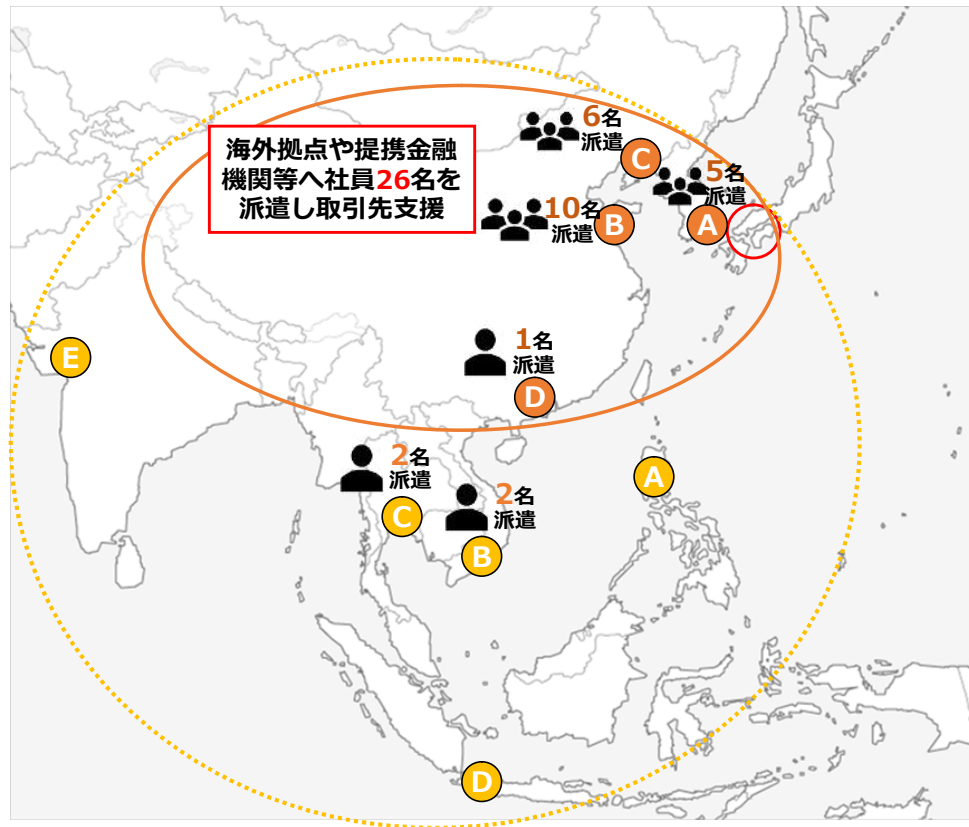
- » 1973年 韓国釜山へ邦銀初の出店（以降、中国大連・青島へも出店）
- » 中国国内で人民元の取扱いが可能な数少ない地方銀行（スタンドバイ・クレジット対応における他行優位性）
- » アジアの外銀との提携戦略により、取引先のアジア進出のサポートを実践

## 海外拠点

A	釜山支店
B	青島支店
C	大連支店
D	香港駐在員事務所

## 提携銀行他

A	メトロポリタン銀行
B	HDバンク AGS Joint Stock Company
C	TMB銀行 日本政策金融公庫
D	バンクネガラインドネシア
E	インドステイト銀行



## トピック

- 2019/2：商工組合中央金庫と国際業務にかかる業務提携
- 2019/3：Tryfunds（海外コンサルティング及び海外M&Aアドバイザリー会社）と業務提携
- 2019/9：アリババとの有償ビジネスマッチングサービスの取扱開始

## 特色ある取組み

### ◆人民元の取扱い

中国国内で人民元の取扱が可能な数少ない地方銀行

### ◆スタンドバイ・クレジット

国内銀行の19行よりスタンドバイ・クレジット差入れで融資実行

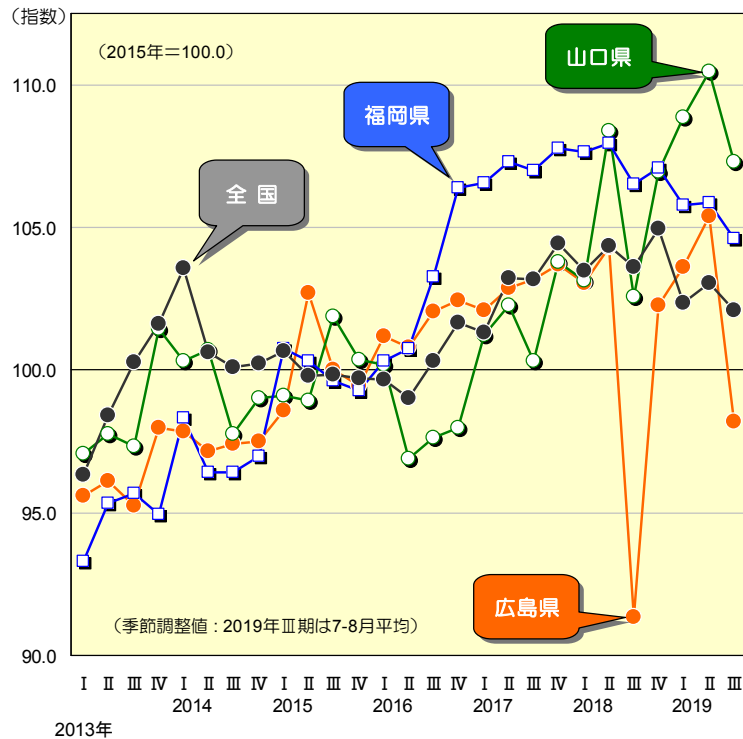
# 地区別経済概況

	北九州市 ～景気は緩やかに拡大しているものの、 そのペースは鈍化している～	山口県 ～景気は緩やかに回復している～	広島県 ～景気は一部に弱めの動きがみられるものの、 緩やかに回復している～
生産	電気機械や自動車など一部で弱めの動きがみられるものの、鉄鋼、化学、住設機器は高水準で推移するなど、全体として高水準で推移している	米中貿易摩擦の影響等から、鉄鋼や輸送機械等の一部品目で生産水準が低下する動きがみられる一方、化学等の生産が高水準を維持するなど、全体で見ると堅調に推移している	造船が高操業を維持し、電気機械が増加している一方、はん用・生産用・業務用機械が弱めの動きとなるなど、全体では横ばい圏内で推移している
設備投資	2019年度の設備投資計画額（日銀北九州支店調べ）は、非製造業の投資額が前年度を下回るものの、製造業が大幅な増加を続け、全体でも前年度比21.4%増加と3年連続で前年度を上回る計画となっている	2019年度の設備投資計画額（日銀下関支店調べ）は、製造業、非製造業の投資額がいずれも増加を続け、全体でも前年度比18.4%増加と2年連続で前年度を上回る見通しとなっている	2019年度の設備投資計画額（日銀広島支店調べ）は、大企業・製造業の投資額が大幅に増加するなど、全体でも前年度比9.8%増加と2年ぶりに前年度を上回る計画となっている
輸出	7-9月期の輸出額は前年比17.8%減少と5四半期連続の前年割れと、弱めの動きとなっている	7-9月期の輸出額は前年比5.6%減少と5四半期連続で前年を下回った。防府港の自動車、徳山港の有機化合物等が減少している	横ばい圏内で推移しているが、電気機器等の一部で弱い動きもみられる
個人消費	振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。但し、大型小売店や量販店等では足元で消費税増税に伴う駆け込み需要の反動がみられている	7-9月期は消費税増税前の駆け込み需要で、家電量販店販売額等が好調に推移したが、足元では駆け込み需要の反動で一部に弱い動きもみられる	消費税増税の影響で家電量販店販売額等が落ち込む動きがみられるものの、基調としては持ち直している
公共工事	7-9月期の公共工事請負金額は、前年比7.4%増加と4四半期連続で前年を上回り、堅調に推移している	2019年度累計（4-9月）の公共工事請負金額は、前年比12.4%減少となった。岩国飛行場関連の大型工事が減少したことを主因に、国からの発注が前年割れとなったほか、市町からの発注も大幅に減少している	2019年度累計（4-9月）の公共工事請負金額は前年比51.8%増加となった。災害の復旧・復興需要がみられ、増加傾向となっている
住宅建築	7-9月期の新設住宅着工戸数は、前年比4.1%増加と3四半期連続で前年を上回ったものの、基調としては弱めの動きとなっている	7-9月期の新設住宅着工戸数は、前年比8.3%減少と3四半期連続で前年を下回った。持家の着工が堅調に推移している一方、貸家、分譲マンションの着工が減少傾向となっている	7-9月期の新設住宅着工戸数は、前年比8.5%減少と2四半期ぶりに前年を下回った。貸家の前年割れが続いた一方、持家、分譲マンションは堅調に推移している
雇用情勢	7-9月期の有効求人倍率が1.37倍と、労働需給が引き締まった状況が続いている	7-9月期の有効求人倍率が1.61倍と4四半期連続の1.6倍台となるなど、労働需給が逼迫している	7-9月期の有効求人倍率は2.01倍と引き続き2倍超で推移し、労働需給が逼迫している。7-9月期の有効求人倍率は2.01倍と引き続き2倍超で推移し、労働需給が逼迫している
企業倒産	2019年度累計（4-9月）の企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を下回る水準となった	2019年度累計（4-9月）の企業倒産は、件数が前年を2割超下回ったものの、大型倒産の発生によって負債総額が大幅に前年を上回る水準となった	2019年度累計（4-9月）の企業倒産は、件数が前年を若干上回ったものの、負債総額は前年を7割近く下回る水準となった

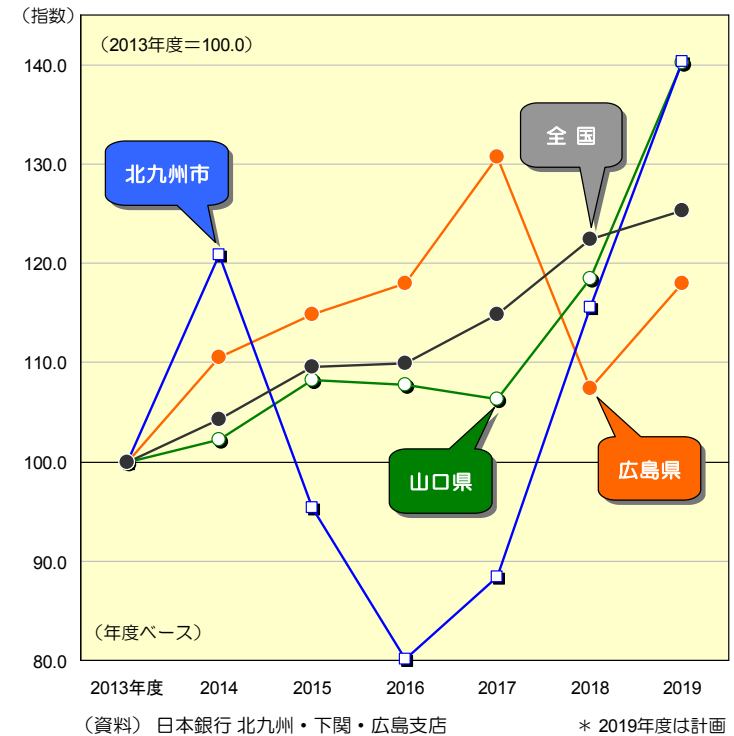
# 地域経済概況(鉱工業生産・設備投資)

- ▶ 鉱工業生産指数：一部品目の生産水準が低下するも、全体では高水準
- ▶ 設備投資計画額(2019年度)：山口県が2年連続のプラス(前年度比+18.4%)  
 広島県が2年ぶりのプラス(同+9.8%)  
 北九州市が3年連続のプラス(同+21.4%)

## 鉱工業生産指数の推移



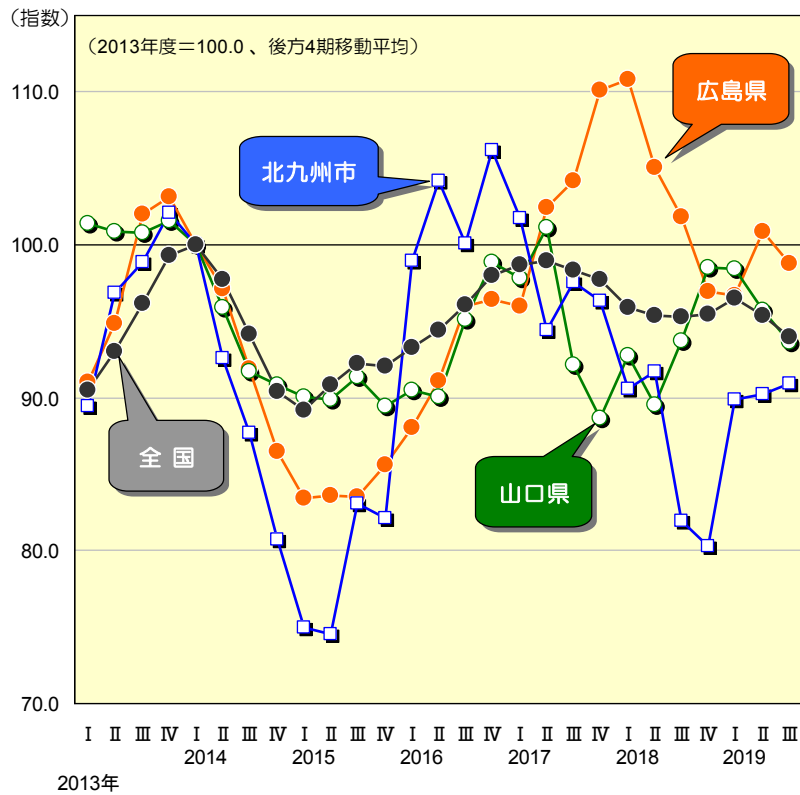
## 設備投資額の推移



# 地域経済概況(住宅建築・雇用情勢)

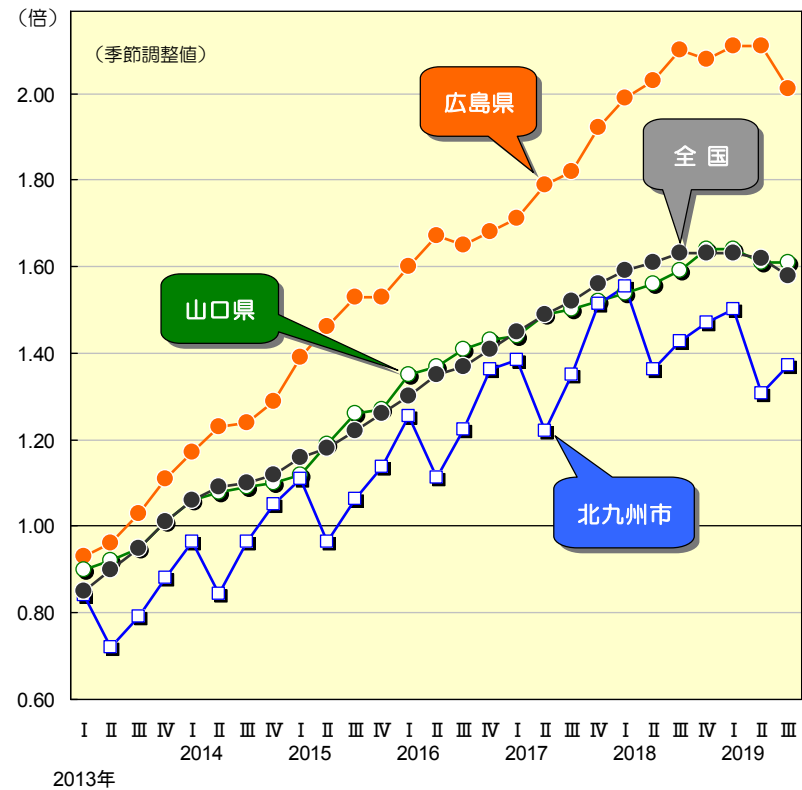
- 住宅着工戸数：貸家が減少傾向となるなど、全体でも弱めの動き
- 雇用情勢：有効求人倍率が高水準を維持するなど、労働需給は逼迫

## 新設住宅着工戸数の推移



(資料) 国土交通省

## 有効求人倍率の推移



(資料) 厚生労働省 山口労働局ほか

\* 北九州市は、ハローワーク小倉・八幡・行橋の管轄地域で、数値は原数値

# 2019年度中間決算の概要(山口銀行)

(億円)

		2018/9期	2019/9期	前年同期比
経常収益	1	452	497	44
業務粗利益	2	259	259	0
資金利益	3	265	241	▲24
役務取引等利益	4	33	24	▲9
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	▲39 (▲5)	▲5 (37)	33 (42)
経費(除く臨時処理分) (△)	6	143	139	▲4
一般貸倒引当金繰入額 (△)	7	▲0	12	13
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	115	120	4
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	9	121 (87)	83 (63)	▲37 (▲24)
臨時損益	10	26	59	33
うち株式等関係損益	11	41	63	21
うち不良債権処理額 (△)	12	17	17	▲0
うち貸倒引当金戻入益	13	-	-	-
うち償却債権取立益	14	0	0	▲0
経常利益	15	142	167	25
特別損益	16	▲0	▲1	▲1
税引前中間純利益	17	142	166	23
中間純利益	18	105	123	18
与信関係費用(7+12-13-14) (△)	19	17	29	12

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

## 決算概要

- ▶ 経常利益は国債等債券損益や株式等関係損益の増加等を主因として前年同期比+25億円の167億円
- ▶ 中間純利益は前年同期比+18億円の123億円

## 資金利益

単位：億円

山口銀行	2019/9	前年同期比
資金利益	241	▲24
預貸金収支	191	1
貸出金利息	215	1
預金利息	23	0
有価証券利息配当金	60	▲15
投資信託解約損益	19	▲13
その他	▲11	▲9



# 2019年度中間決算の概要(もみじ銀行)

(億円)

		2018/9期	2019/9期	前年同期比
経常収益	1	209	210	1
業務粗利益	2	152	165	12
資金利益	3	143	127	▲16
役務取引等利益	4	12	9	▲3
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	▲3 (▲1)	29 (32)	32 (33)
経費(除く臨時処理分)(△)	6	108	98	▲9
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	3	6	3
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	44	67	22
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	9	46 (31)	35 (30)	▲11 (▲0)
臨時損益	10	4	▲24	▲29
うち株式等関係損益	11	9	▲4	▲14
うち不良債権処理額(△)	12	▲0	19	20
うち貸倒引当金戻入益	13	-	-	-
うち償却債権取立益	14	0	0	▲0
経常利益	15	46	36	▲10
特別損益	16	▲0	▲0	0
税引前中間純利益	17	46	36	▲10
中間純利益	18	35	30	▲5
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	2	26	24

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

## 決算概要

- ▶ 経常利益は与信関係費用の増加等を主因として、前年同期比▲10億円の36億円
- ▶ 中間純利益は前年同期比▲5億円の30億円

## 資金利益

単位：億円

もみじ銀行	2019/9	前年同期比
資金利益	127	▲16
預貸金収支	111	▲0
貸出金利息	114	▲1
預金利息	3	▲1
有価証券利息配当金	19	▲16
投資信託解約損益	4	▲10
その他	▲3	0

# 2019年度中間決算の概要(北九州銀行)

(億円)

		2018/9期	2019/9期	前年同期比
経常収益	1	71	70	▲ 1
業務粗利益	2	57	57	0
資金利益	3	55	55	0
役務取引等利益	4	1	1	▲ 0
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	0 (-)	0 (-)	0 (0)
経費(除く臨時処理分)(△)	6	38	37	▲ 1
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	1	1
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	18	20	1
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	9	18 (18)	20 (20)	1 (1)
臨時損益	10	2	▲ 1	▲ 2
うち株式等関係損益	11	▲ 0	-	0
うち不良債権処理額(△)	12	0	2	1
うち貸倒引当金戻入益	13	1	-	▲ 1
うち償却債権取立益	14	-	-	-
経常利益	15	21	17	▲ 3
特別損益	16	▲ 0	▲ 0	0
税引前中間純利益	17	21	17	▲ 4
中間純利益	18	15	13	▲ 2
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 1	3	5

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

## 決算概要

- ▶ 経常利益は与信関係費用の増加等により、前年同期比▲3億円の17億円
- ▶ 中間純利益は前年同期比▲2億円の13億円

## 資金利益

単位：億円

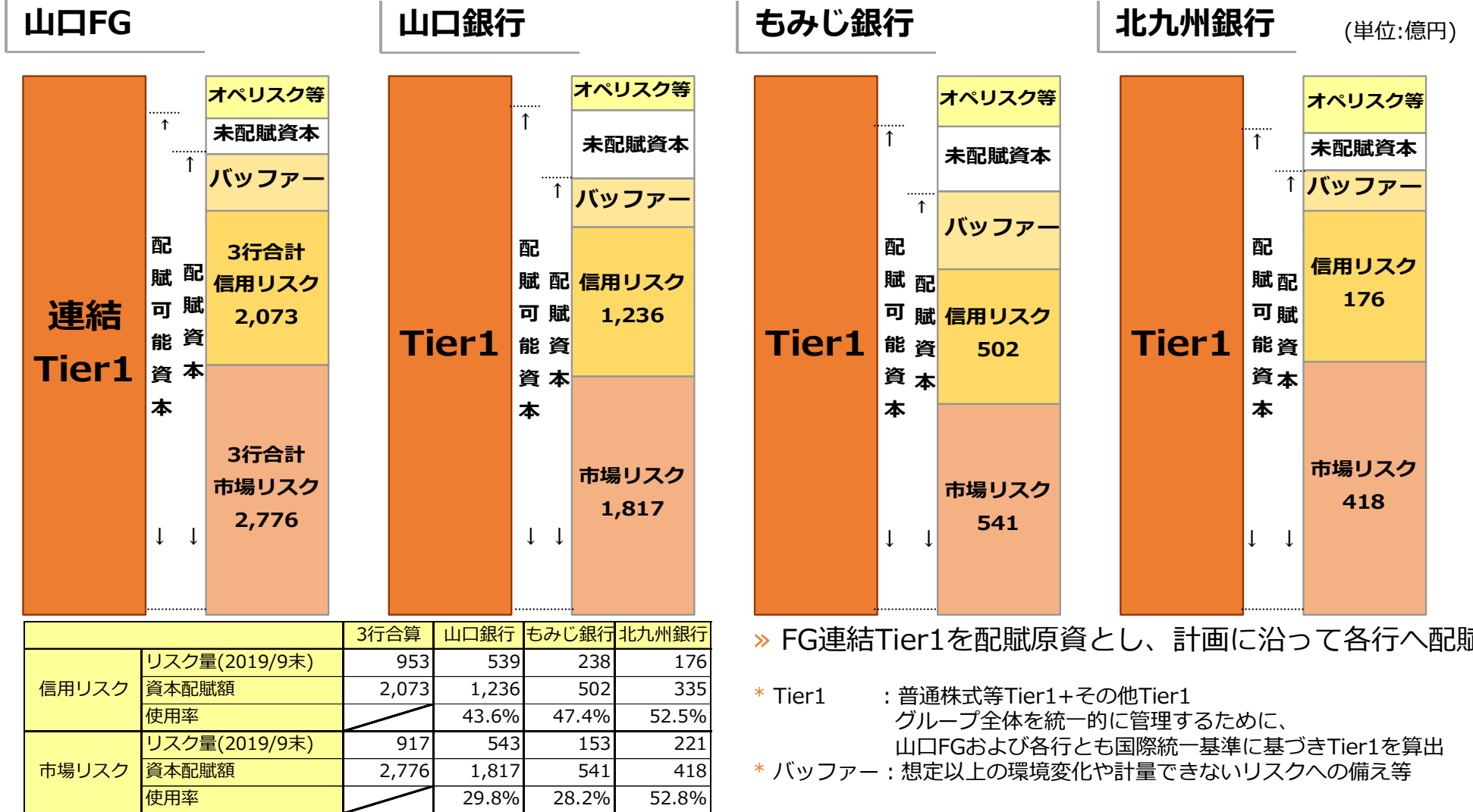
北九州銀行	2019/9	前年同期比
資金利益	55	0
預貸金収支	54	0
貸出金利息	56	0
預金利息	2	0
有価証券利息配当金	3	0
投資信託解約損益	-	-
その他	▲ 1	0

# 債務者ランク遷移

(億円)

		2018年9月末		2019年 9月末						その他
				正常先	要留意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先	
					その他	要管理先				
山口銀行	正常先	31,460	30,661	429	2	18	0	-	346	
	要留意先	その他	3,471	434	2,819	6	6	1	2	201
		要管理先	79	-	22	54	0	-	-	1
	破綻懸念先	256	0	1	17	217	12	6	1	
	実質破綻先	56	-	-	-	-	46	1	9	
	破綻先	66	-	-	-	-	-	65	1	
				ランクダウン 488億円						
				ランクアップ 475億円						
もみじ銀行	正常先	14,281	13,614	424	2	26	0	-	211	
	要留意先	その他	3,236	235	2,908	4	10	11	3	61
		要管理先	32	-	1	30	0	-	-	0
	破綻懸念先	152	0	0	1	142	6	0	1	
	実質破綻先	57	-	0	-	-	55	0	0	
	破綻先	41	-	-	-	-	-	41	0	
				ランクダウン 493億円						
				ランクアップ 239億円						
北九州銀行	正常先	7,549	7,239	204	0	-	-	0	104	
	要留意先	その他	2,337	231	2,061	13	2	0	0	27
		要管理先	45	-	10	32	0	-	-	2
	破綻懸念先	53	-	0	-	51	2	-	0	
	実質破綻先	26	-	-	-	-	25	0	0	
	破綻先	32	-	-	-	-	-	32	0	
				ランクダウン 224億円						
				ランクアップ 242億円						

# リスク資本配賦



» FG連結Tier1を配賦原資とし、計画に沿って各行へ配賦

- \* Tier1 : 普通株式等Tier1+その他Tier1  
グループ全体を統一的に管理するために、山口FGおよび各行とも国際統一基準に基づきTier1を算出
- \* バッファ : 想定以上の環境変化や計量できないリスクへの備え等

# 業績推移(1)FG連結・3行合算

## FG連結

(億円)

	2015/9 (半期)	2016/3 (通期)	2016/9 (半期)	2017/3 (通期)	2017/9 (半期)	2018/3 (通期)	2018/9 (半期)	2019/3 (通期)	2019/9 (半期)	前期比
コア業務粗利益	542	1,035	498	1,040	546	1,090	528	996	455	△ 73
コア業務純益	148	251	99	283	201	385	167	286	105	△ 62
除く投資信託解約損益	116	194	76	207	148	283	118	212	80	△ 38
経常利益	259	497	251	467	272	478	191	334	184	△ 7
当期利益	174	322	169	315	187	329	130	231	128	△ 2
ROE	6.09%	5.62%	5.81%	5.31%	5.99%	5.20%	3.95%	3.53%	3.89%	△ 0.06%
総資産	100,329	104,380	101,666	102,257	103,358	103,665	103,667	103,041	103,185	△ 482
BIS比率	12.94%	13.37%	13.52%	13.91%	14.84%	13.29%	14.23%	13.62%	13.78%	△ 0.45%

## 3行合算

(億円)

	2015/9 (半期)	2016/3 (通期)	2016/9 (半期)	2017/3 (通期)	2017/9 (半期)	2018/3 (通期)	2018/9 (半期)	2019/3 (通期)	2019/9 (半期)	前期比
コア業務粗利益	518	976	463	953	493	978	476	900	414	△ 62
資金利益	478	925	436	891	462	913	463	891	423	△ 40
役務取引等利益	62	118	57	118	61	121	48	83	34	△ 14
経費	350	692	354	680	286	574	290	566	274	△ 16
人件費	162	323	164	310	145	281	140	268	127	△ 13
物件費	164	326	163	323	120	247	126	255	126	△ 0
コア業務純益	168	283	109	272	207	403	186	333	139	△ 47
除く投資信託解約損益	136	226	86	196	154	302	137	260	114	△ 23
経常利益	282	533	262	459	274	495	210	381	221	11
当期利益	204	370	183	317	201	365	156	290	167	11
与信関係費用	△ 14	△ 35	△ 27	△ 19	△ 10	10	18	73	60	42

※記載金額の単位未満は切捨て表示

## 業績推移(2)各行単体

## 各行単体

(億円)

		2015/9 (半期)	2016/3 (通期)	2016/9 (半期)	2017/3 (通期)	2017/9 (半期)	2018/3 (通期)	2018/9 (半期)	2019/3 (通期)	2019/9 (半期)	前期比
山口銀行	コア業務粗利益	276	507	241	500	264	519	264	495	222	△ 42
	資金利益	259	504	235	470	252	494	265	507	241	△ 24
	役務取引等利益	39	74	35	72	38	77	33	58	24	△ 9
	経費	166	324	168	327	138	282	143	281	139	△ 4
	人件費	76	150	78	149	69	134	69	134	65	△ 4
	物件費	78	154	77	157	59	125	63	128	64	1
	コア業務純益	109	183	72	172	125	237	121	214	83	△ 38
	除く投資信託解約損益	90	150	62	145	96	185	87	161	63	△ 24
	経常利益	184	347	125	269	187	327	142	252	167	25
	当期利益	132	247	86	185	137	240	105	187	123	18
与信関係費用	0	△ 15	△ 4	1	△ 1	7	17	51	29	12	
もみじ銀行	コア業務粗利益	187	356	166	340	171	341	154	289	133	△ 21
	資金利益	168	319	149	315	156	310	143	272	127	△ 16
	役務取引等利益	18	35	19	38	19	36	12	21	9	△ 3
	経費	137	274	138	261	107	211	108	208	98	△ 10
	人件費	63	129	64	119	54	105	51	97	44	△ 7
	物件費	64	127	62	122	44	87	46	92	44	△ 2
	コア業務純益	50	81	28	78	64	129	46	80	35	△ 11
	除く投資信託解約損益	37	56	14	29	39	79	31	59	30	△ 1
	経常利益	84	154	114	157	63	120	46	96	36	△ 10
	当期利益	63	104	81	109	47	91	35	77	30	△ 5
与信関係費用	△ 15	△ 18	△ 9	△ 11	△ 4	9	2	13	26	24	
北九州銀行	コア業務粗利益	55	112	55	112	57	117	57	115	57	0
	資金利益	50	102	52	105	53	108	55	110	55	0
	役務取引等利益	3	8	3	7	3	7	1	3	1	△ 0
	経費	46	93	47	91	40	81	38	76	37	△ 1
	人件費	21	43	21	42	21	41	19	36	17	△ 2
	物件費	21	43	22	43	16	34	17	34	17	△ 0
	コア業務純益	8	18	8	21	17	36	18	38	20	2
	除く投資信託解約損益	8	18	8	21	17	36	18	38	20	2
	経常利益	14	31	22	32	22	47	21	32	17	△ 4
	当期利益	9	18	15	22	16	34	15	25	13	△ 2
与信関係費用	0	△ 2	△ 12	△ 8	△ 3	△ 5	△ 1	8	3	4	

※記載金額の単位未満は切捨て表示

# 貸出金推移(未残)

## 山口銀行

(億円)

	2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	2019/3	2019/9	前年同期比
国内貸出金合計	34,123	34,496	34,999	35,908	36,731	38,084	38,933	40,130	40,591	1,658
法人貸出金	22,989	23,021	23,067	23,608	24,018	25,068	26,196	27,259	27,971	1,775
大企業	10,874	10,535	11,015	11,209	11,611	11,941	13,106	13,355	13,933	827
中堅企業	948	926	897	893	871	892	862	863	821	△ 41
中小企業等	11,167	11,559	11,155	11,506	11,535	12,234	12,227	13,040	13,217	990
地公体	5,586	5,728	6,080	6,207	6,494	6,673	6,344	6,412	6,132	△ 212
外郭団体	38	62	31	74	47	47	31	31	30	△ 1
個人ローン	5,509	5,683	5,820	6,016	6,171	6,295	6,362	6,412	6,456	94
住宅ローン	4,863	5,017	5,162	5,343	5,493	5,631	5,708	5,778	5,824	116
その他ローン	645	665	658	672	677	663	653	649	632	△ 21

## もみじ銀行

(億円)

	2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	2019/3	2019/9	前年同期比
国内貸出金合計	20,429	20,345	20,677	21,110	21,668	22,123	22,353	22,533	22,817	464
法人貸出金	12,366	12,126	12,280	12,682	13,256	13,725	13,916	14,244	14,359	443
大企業	3,035	3,020	2,793	2,805	3,010	3,140	3,385	3,601	3,680	295
中堅企業	647	608	612	682	671	708	694	719	675	△ 19
中小企業等	8,683	8,498	8,874	9,194	9,575	9,876	9,836	9,923	10,003	167
地公体	3,449	3,416	3,371	3,200	3,168	3,103	3,139	2,964	3,098	△ 41
外郭団体	61	58	61	57	57	56	54	53	53	△ 1
個人ローン	4,551	4,743	4,964	5,169	5,186	5,238	5,242	5,271	5,305	63
住宅ローン	4,041	4,403	4,631	4,837	4,860	4,918	4,932	4,968	5,009	77
その他ローン	510	339	332	332	325	319	309	302	296	△ 13

## 北九州銀行

(億円)

	2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	2019/3	2019/9	前年同期比
国内貸出金合計	9,074	9,552	10,074	10,395	10,745	11,324	11,454	11,589	11,699	245
法人貸出金	6,624	6,930	7,286	7,431	7,619	7,987	7,995	8,049	8,117	122
大企業	933	891	952	908	926	1,001	967	994	1,022	55
中堅企業	498	533	558	567	561	697	672	699	734	62
中小企業等	5,191	5,506	5,775	5,955	6,131	6,288	6,356	6,354	6,359	3
地公体	810	898	978	1,047	1,109	1,190	1,181	1,159	1,122	△ 59
外郭団体	53	50	37	31	17	12	8	5	5	△ 3
個人ローン	1,586	1,672	1,771	1,884	1,997	2,134	2,268	2,375	2,455	187
住宅ローン	1,269	1,342	1,428	1,541	1,663	1,803	1,923	2,044	2,126	203
その他ローン	317	330	343	343	334	330	345	331	328	△ 17

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

# 預金推移(未残)

## 山口銀行

(億円)

		2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	2019/3	2019/9	前年同期比
預金		52,647	55,610	53,073	51,953	53,094	52,644	52,723	51,276	51,663	△ 1,060
内容別	一般	45,597	46,792	45,910	46,337	46,627	45,804	46,445	46,155	46,710	265
	うち個人	31,823	32,026	32,140	32,400	32,743	32,869	33,088	33,152	33,317	229
	うち法人	13,773	14,766	13,769	13,936	13,883	12,935	13,357	13,003	13,392	35
	公金	2,969	2,717	3,025	2,859	3,088	3,144	3,297	2,949	3,244	△ 53
	金融	4,080	6,100	4,137	2,756	3,378	3,695	2,980	2,171	1,708	△ 1,272
商品別	邦貨定期性預金	29,460	31,091	28,211	25,740	26,402	24,854	24,519	22,042	23,088	△ 1,431
	邦貨流動性預金	22,978	24,318	24,547	25,926	25,711	26,846	26,465	27,809	27,628	1,163
	外貨預金	209	201	314	286	979	943	1,739	1,424	946	△ 793

## もみじ銀行

(億円)

		2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	2019/3	2019/9	前年同期比
預金		29,150	29,806	29,204	29,858	29,653	29,483	29,865	29,823	29,831	△ 34
内容別	一般	27,233	27,423	27,292	27,899	28,353	28,630	28,798	28,972	29,001	203
	うち個人	20,431	20,449	20,610	20,879	21,202	21,407	21,687	21,794	21,920	233
	うち法人	6,802	6,973	6,682	7,020	7,151	7,222	7,111	7,177	7,081	△ 30
	公金	1,156	1,626	1,163	1,321	788	384	579	332	423	△ 156
	金融	761	757	747	636	511	468	487	519	406	△ 81
商品別	邦貨定期性預金	15,978	16,230	15,441	15,564	14,892	14,254	14,395	13,983	13,627	△ 768
	邦貨流動性預金	13,107	13,496	13,678	14,214	14,689	15,091	15,334	15,711	16,112	778
	外貨預金	64	79	84	78	71	137	135	128	91	△ 44

## 北九州銀行

(億円)

		2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	2019/3	2019/9	前年同期比
預金		9,449	9,774	10,307	10,731	11,020	11,664	11,281	11,367	11,654	373
内容別	一般	8,581	9,006	9,239	9,701	9,427	9,760	9,551	9,798	9,817	266
	うち個人	4,976	5,051	5,157	5,328	5,435	5,447	5,532	5,541	5,564	32
	うち法人	3,605	3,955	4,082	4,373	3,991	4,313	4,018	4,257	4,252	234
	公金	647	385	575	560	1,030	1,315	1,103	967	1,229	126
	金融	220	382	492	468	563	589	627	601	607	△ 20
商品別	邦貨定期性預金	5,873	5,961	6,393	6,583	6,612	6,616	7,029	6,799	7,071	42
	邦貨流動性預金	3,506	3,752	3,859	4,086	4,353	4,969	4,190	4,511	4,526	336
	外貨預金	69	60	55	61	54	78	61	56	56	△ 5

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

※NCD含む



# 資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)

## 山口銀行

(億円)

	2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	2019/3	2019/9	前期比
資金運用勘定計	55,682	55,389	55,922	55,732	55,275	55,167	56,024	55,615	55,273	△ 751
貸出金	34,242	34,236	34,530	35,052	36,382	36,911	38,534	39,018	40,176	1,642
有価証券	14,894	14,636	13,385	12,940	11,428	11,151	10,288	9,427	8,855	△ 1,433
コールローン	2,703	2,602	3,870	3,687	3,166	2,762	2,502	2,180	845	△ 1,657
資金調達勘定計	53,546	53,265	53,856	53,497	53,015	53,000	53,955	53,548	53,302	△ 653
預金	48,253	47,807	48,599	48,075	47,591	47,825	49,172	49,151	49,423	251
譲渡性預金	4,763	4,918	4,488	4,514	4,577	4,302	3,968	3,275	2,329	△ 1,639
コールマネー	659	624	701	812	818	793	311	485	917	606

## もみじ銀行

(億円)

	2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	2019/3	2019/9	前期比
資金運用勘定計	29,390	29,327	29,550	29,873	30,020	30,011	30,161	30,036	29,523	△ 638
貸出金	20,060	20,221	20,383	20,618	21,181	21,482	22,132	22,248	22,625	493
有価証券	6,962	6,903	7,460	7,561	7,054	6,717	6,174	5,809	4,910	△ 1,264
コールローン	503	542	143	81	43	84	52	210	509	457
資金調達勘定計	28,620	28,539	28,896	29,084	29,654	29,732	30,209	30,221	30,262	53
預金	27,136	27,147	27,387	27,514	28,183	28,328	28,797	28,820	29,149	352
譲渡性預金	1,270	1,208	1,129	1,071	1,052	988	1,034	971	823	△ 211
コールマネー	12	17	303	452	312	272	165	114	56	△ 109

## 北九州銀行

(億円)

	2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	2019/3	2019/9	前期比
資金運用勘定計	9,459	9,686	10,335	10,586	11,202	11,388	12,116	12,204	12,399	283
貸出金	8,779	9,026	9,675	9,930	10,440	10,670	11,316	11,413	11,564	248
有価証券	194	195	193	195	210	215	224	227	231	7
コールローン	28	17	2	2	17	16	3	4	3	0
資金調達勘定計	8,759	8,981	9,629	9,875	10,514	10,704	11,419	11,506	11,714	295
預金	8,034	8,173	8,475	8,577	8,993	8,987	9,293	9,313	9,803	510
譲渡性預金	712	763	932	985	1,206	1,168	1,341	1,400	1,326	△ 15
コールマネー	0	33	211	302	304	539	777	785	577	△ 200

※金額は単位未満を四捨五入表示。

# 利回り・利鞘推移

山口銀行		2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	2019/3	2019/9	前年同期比
資金運用利回	①	1.019	1.000	0.919	0.931	0.998	0.990	1.056	1.042	1.014	△ 0.042
貸出金利回	ア	1.191	1.186	1.122	1.112	1.090	1.084	1.103	1.103	1.067	△ 0.036
有価証券利回		0.971	0.906	0.890	0.937	1.269	1.213	1.483	1.427	1.363	△ 0.120
コールローン利回		0.300	0.332	0.069	0.065	0.130	0.173	0.290	0.378	0.613	0.323
資金調達利回	②	0.092	0.093	0.084	0.090	0.089	0.098	0.117	0.135	0.150	0.033
預金利回		0.079	0.078	0.062	0.061	0.058	0.069	0.093	0.102	0.093	0.000
譲渡性預金利回		0.095	0.091	0.027	0.022	0.016	0.016	0.014	0.014	0.016	0.002
コールマネー利回		0.557	0.726	1.238	1.448	1.592	1.462	2.515	1.886	1.946	△ 0.569
経費率	③	0.620	0.609	0.623	0.612	0.521	0.532	0.529	0.525	0.520	△ 0.009
資金調達原価	(②+③)	④	0.713	0.702	0.707	0.702	0.610	0.646	0.660	0.670	0.024
預金等原価	イ	0.707	0.695	0.692	0.681	0.584	0.606	0.625	0.633	0.626	0.001
預金等利回	ウ	0.080	0.079	0.059	0.057	0.055	0.065	0.087	0.096	0.090	0.003
経費率		0.626	0.615	0.632	0.623	0.529	0.541	0.537	0.536	0.536	△ 0.001
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.484	0.491	0.430	0.431	0.506	0.478	0.478	0.470	0.441	△ 0.037
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.111	1.107	1.063	1.055	1.035	1.019	1.016	1.007	0.977	△ 0.039
預証単純利鞘		0.891	0.827	0.831	0.880	1.214	1.148	1.396	1.331	1.273	△ 0.123
もみじ銀行		2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	2019/3	2019/9	前年同期比
資金運用利回	①	1.203	1.150	1.072	1.119	1.102	1.098	1.020	0.979	0.915	△ 0.105
貸出金利回	ア	1.291	1.276	1.205	1.185	1.116	1.102	1.052	1.047	1.013	△ 0.039
有価証券利回		1.322	1.113	0.931	1.167	1.312	1.353	1.176	1.015	0.800	△ 0.376
コールローン利回		0.119	0.104	0.011	0.030	0.210	0.157	0.650	0.194	0.016	△ 0.634
資金調達利回	②	0.061	0.062	0.065	0.066	0.063	0.063	0.070	0.071	0.054	△ 0.016
預金利回		0.051	0.050	0.051	0.049	0.041	0.038	0.036	0.035	0.025	△ 0.011
譲渡性預金利回		0.099	0.095	0.039	0.031	0.017	0.016	0.011	0.010	0.010	△ 0.001
コールマネー利回		0.498	0.423	0.007	0.000	0.022	0.040	0.381	0.324	0.923	0.542
経費率	③	0.955	0.963	0.955	0.900	0.724	0.710	0.713	0.688	0.647	△ 0.066
資金調達原価	(②+③)	④	1.016	1.025	1.020	0.966	0.787	0.773	0.783	0.760	△ 0.082
預金等原価	イ	1.016	1.022	1.019	0.965	0.774	0.757	0.758	0.733	0.678	△ 0.080
預金等利回	ウ	0.053	0.052	0.051	0.049	0.040	0.037	0.035	0.034	0.024	△ 0.011
経費率		0.962	0.969	0.968	0.915	0.734	0.720	0.722	0.698	0.653	△ 0.069
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.275	0.254	0.186	0.220	0.342	0.345	0.294	0.314	0.335	0.041
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.238	1.224	1.154	1.136	1.076	1.065	1.017	1.013	0.989	△ 0.028
預証単純利鞘		1.269	1.061	0.880	1.118	1.272	1.316	1.141	0.981	0.776	△ 0.365
北九州銀行		2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	2019/3	2019/9	前年同期比
資金運用利回	①	1.159	1.146	1.073	1.063	1.021	1.020	0.981	0.982	0.968	△ 0.013
貸出金利回	ア	1.196	1.178	1.098	1.083	1.044	1.033	0.998	0.992	0.981	△ 0.017
有価証券利回		2.066	2.141	2.174	2.302	2.313	2.515	2.443	2.688	2.658	0.215
コールローン利回		0.484	0.563	1.772	1.708	0.603	0.679	2.027	2.178	2.030	0.003
資金調達利回	②	0.102	0.100	0.074	0.069	0.074	0.074	0.077	0.077	0.078	0.001
預金利回		0.096	0.094	0.077	0.072	0.058	0.055	0.049	0.046	0.047	△ 0.002
譲渡性預金利回		0.153	0.151	0.056	0.049	0.040	0.035	0.024	0.024	0.025	0.001
コールマネー利回		0.098	0.047	0.005	0.033	0.632	0.441	0.489	0.524	0.712	0.223
経費率	③	1.063	1.041	0.979	0.923	0.767	0.760	0.681	0.667	0.639	△ 0.042
資金調達原価	(②+③)	④	1.165	1.141	1.053	0.992	0.841	0.834	0.758	0.744	△ 0.041
預金等原価	イ	1.166	1.146	1.077	1.023	0.847	0.855	0.777	0.760	0.717	△ 0.060
預金等利回	ウ	0.101	0.099	0.075	0.070	0.056	0.053	0.045	0.043	0.044	△ 0.001
経費率		1.065	1.046	1.002	0.953	0.791	0.801	0.731	0.716	0.673	△ 0.058
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.030	0.032	0.021	0.060	0.197	0.178	0.221	0.232	0.264	0.043
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.095	1.079	1.023	1.013	0.988	0.980	0.953	0.949	0.937	△ 0.016
預証単純利鞘		1.965	2.042	2.099	2.232	2.257	2.462	2.398	2.645	2.614	0.216

※単位未満を切捨表示。

本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく変更されることがあります。本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご注意ください。

【本資料に関するお問い合わせ先】  
株式会社 山口フィナンシャルグループ  
経営管理部 渡部  
TEL 083-223-7120  
FAX 083-223-5850  
<http://www.ymfg.co.jp/>